

5. 子ども手当の使途等

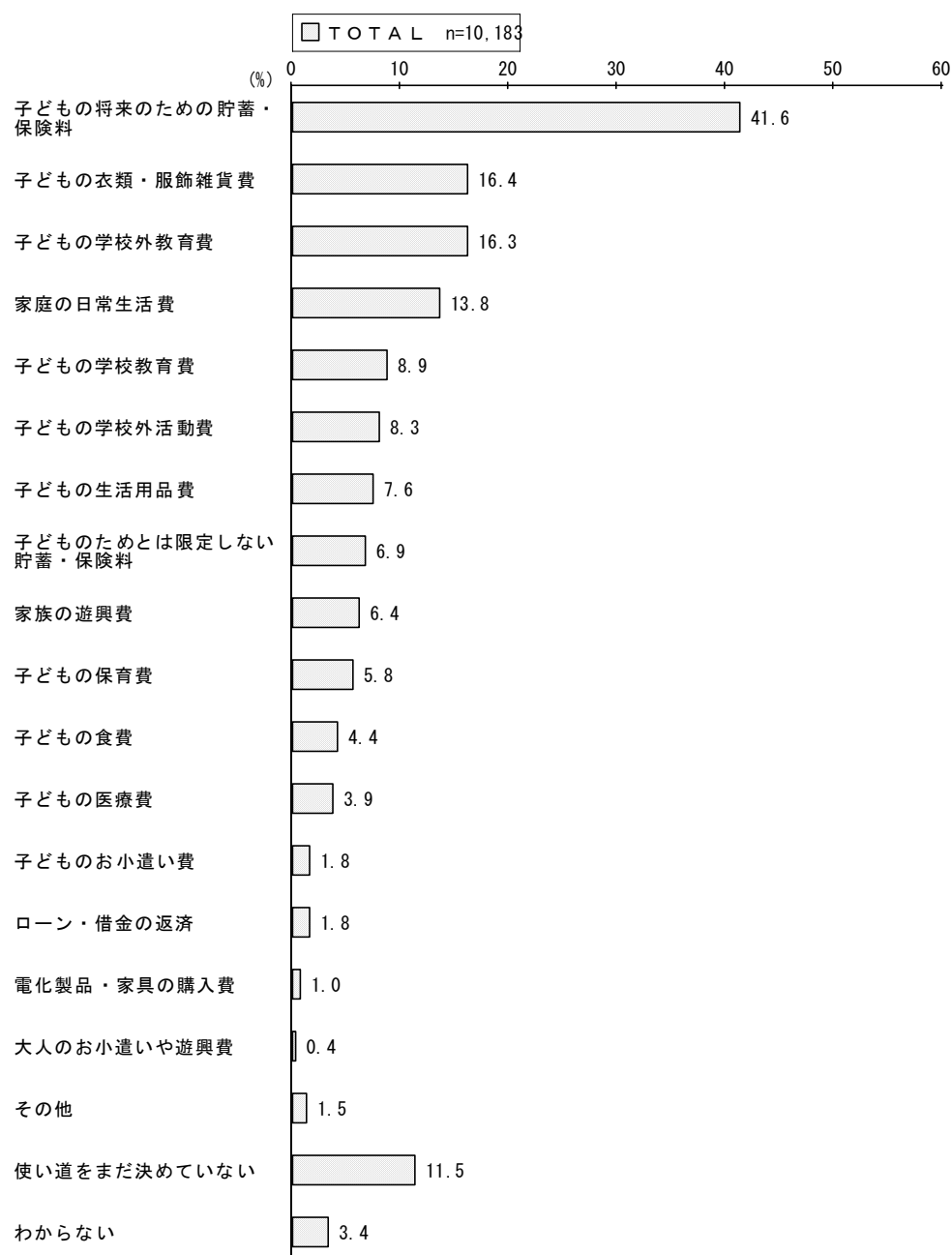
(1) 子ども手当の使途

① 全体

子ども手当の使途について、予定も含め、複数回答での回答を得た。

その結果、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が41.6%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が16.4%、「子どもの学校外教育費」16.3%、「家庭の日常生活費」13.8%、「子どもの学校教育費」8.9%、「子どもの学校外活動費」8.3%、「子どもの生活用品費」7.6%などとなっている。子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は11.5%となっている。また、「大人のお小遣いや遊興費」は0.4%に留まっている。このようにみると、子どもに限定した使途が比較的上位を占めていると言える。

図表II-5-1 子ども手当の使途（予定含む）



② 長子学齢区分別

長子学齢区分別にみると、最も割合の高い項目は、小学生以下では「子どもの将来のための貯蓄・保険料」であるが、中学生では学習塾・通信教育費などが含まれる「子どもの学校外教育費」となっている。

長子学齢区分別に TOTAL とのポイント差について比較すると、0～3歳では、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」「子どもの食費」が 10 ポイント以上、「子どもの生活用品費」が 5 ポイント以上高い。4～6歳では、保育園・幼稚園費が含まれる「子どもの保育費」が 10 ポイント高い。「子どもの学校外教育費」は、小学 4～6年生では 5 ポイント以上、中学 1～3年生では 10 ポイント以上高い。一方、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」は、小学 4～6年生では 5 ポイント以上、中学 1～3年生では 10 ポイント以上低い。また、中学 1～3年生では、制服・通学用品購入費が含まれる「子どもの学校教育費」が 5 ポイント以上高い。

このように、学齢区分が高くなるにつれて、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」の割合が低くなり、逆に、「子どもの学校外教育費」や「子どもの学校教育費」といった教育費関係の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表II-5-2 長子学齢区分別の子ども手当の使途（予定含む）

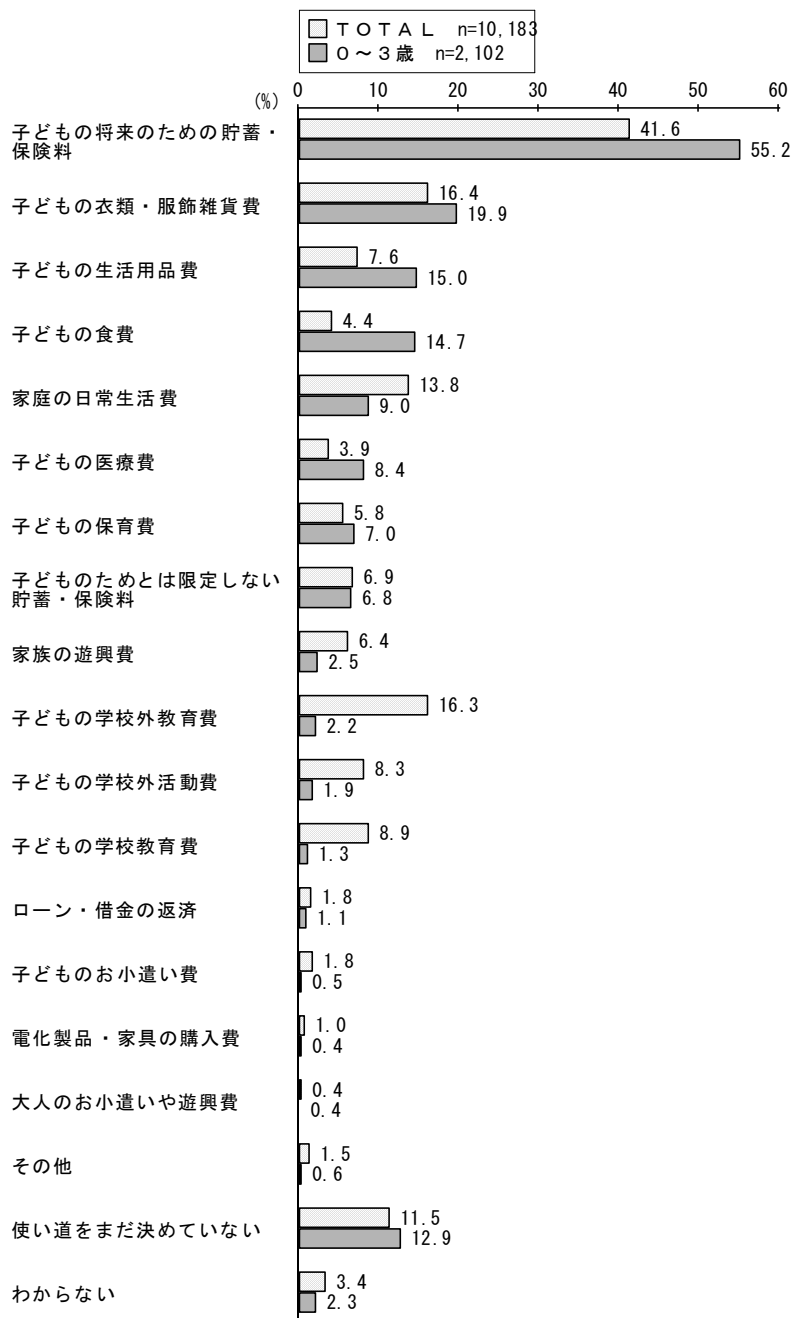
*長子学齢区分		n	保険料 子どもの将来のための貯蓄・	子どもの衣類・ 服飾雑貨費	子どもの学校外 教育費	家庭の日常 生活費	子どもの学校 教育費	子どもの学校 外活動費	子どもの生活 用品費	貯蓄・保険料 子どものためとは 限定しない	家族の遊 興費	子どもの保 育費
0	TOTAL	10,183	41.6	16.4	16.3	13.8	8.9	8.3	7.6	6.9	6.4	5.8
1	0～3歳	2,102	55.2	19.9	2.2	9.0	1.3	1.9	15.0	6.8	2.5	7.0
2	4～6歳	1,986	46.3	15.8	7.7	12.5	4.5	8.3	8.9	6.2	6.8	15.8
3	小学1～3年生	2,007	42.7	17.7	17.5	14.0	12.3	12.4	6.3	7.8	8.0	4.0
4	小学4～6年生	2,024	36.3	16.1	23.5	16.6	11.6	11.4	4.7	7.3	9.5	1.5
5	中学1～3年生	2,064	27.2	12.4	30.8	17.1	14.9	7.8	2.9	6.5	5.2	0.7

*長子学齢区分		n	子どもの食 費	子どもの医 療費	子どものお 小遣い費	ローン・借 金の返済	電化製品・ 家具の購 入費	大人のお 小遣いや 遊興費	その他	使い道を まだ決 めてい ない	わから ない
0	TOTAL	10,183	4.4	3.9	1.8	1.8	1.0	0.4	1.5	11.5	3.4
1	0～3歳	2,102	14.7	8.4	0.5	1.1	0.4	0.4	0.6	12.9	2.3
2	4～6歳	1,986	4.1	4.1	1.2	2.2	0.9	0.5	1.6	10.7	4.3
3	小学1～3年生	2,007	1.3	3.2	1.6	1.9	0.6	0.5	1.8	11.2	2.8
4	小学4～6年生	2,024	0.7	2.2	2.7	2.4	1.3	0.5	1.9	12.5	3.2
5	中学1～3年生	2,064	0.8	1.7	3.1	1.4	1.6	0.3	1.9	10.2	4.6

長子学齢区分 0～3 歳についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 55.2%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が 19.9%、「子どもの生活用品費」15.0%、「子どもの食費」14.7%、「家庭の日常生活費」9.0%、「子どもの医療費」8.4%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 12.9%となっている。

なお、0～3 歳のうち「幼稚園・保育所等には通っていない」のは 74.0%であり、「私立保育所・保育施設」が 12.0%で最も高く、次いで「公立保育所」9.2%、「私立幼稚園」3.9%、「公立幼稚園」0.9%、「国立大学法人立保育所」0.0%である。

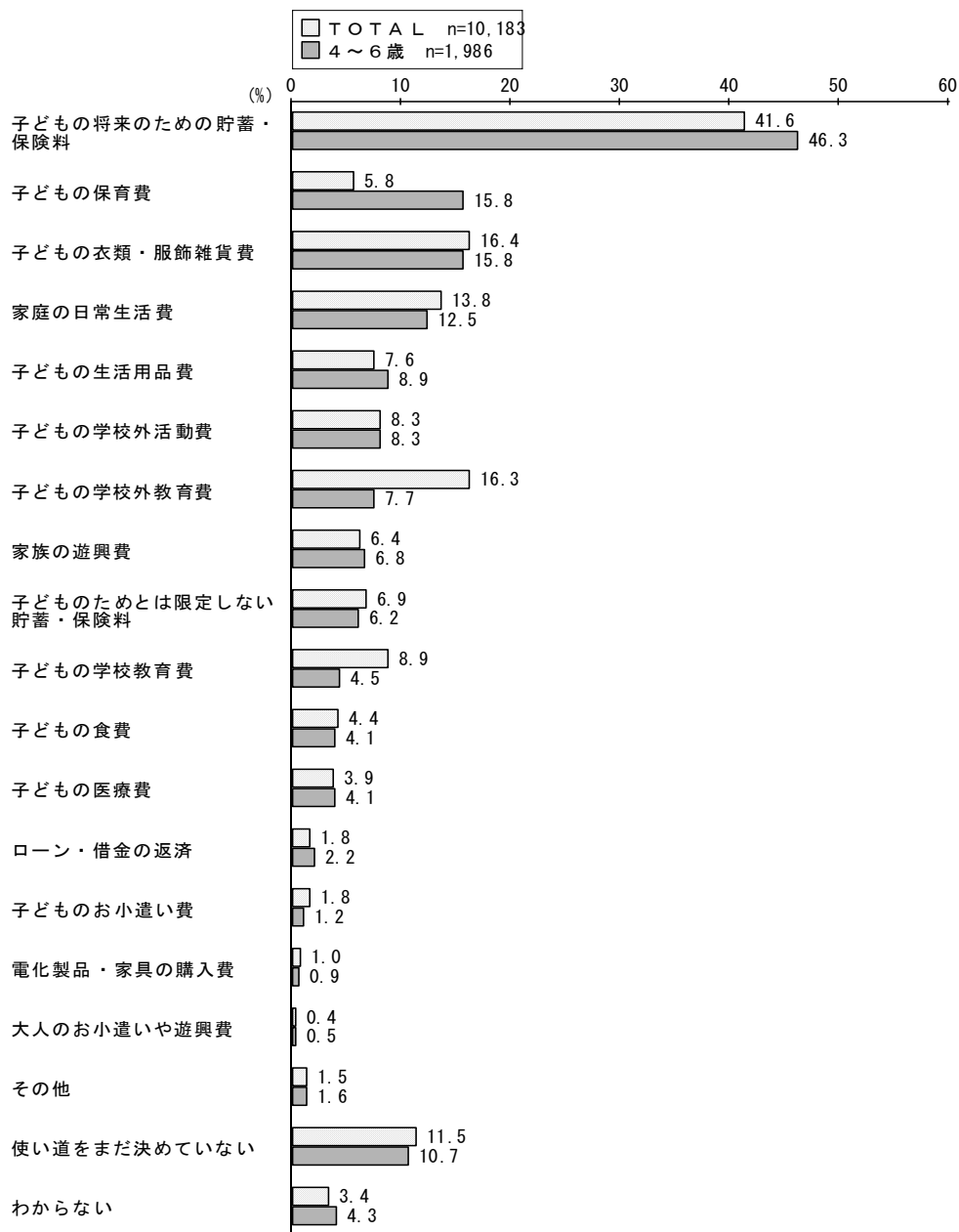
図表II-5-3 長子学齢区分別の子ども手当の使途（予定含む）__0～3 歳



長子学齢区分 4～6 歳についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 46.3%で最も高く、次いで、幼稚園・保育園費などが含まれる「子どもの保育費」と「子どもの衣類・服飾雑貨費」が 15.8%、「家庭の日常生活費」12.5%、「子どもの生活用品費」8.9%、「子どもの学校外活動費」8.3%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 10.7%となっている。

なお、4～6 歳のうち「幼稚園・保育所等には通っていない」のは 7.0%に留まり、「私立幼稚園」が 48.2%で最も高く、次いで「公立保育所」19.5%、「私立保育所・保育施設」14.1%、「公立幼稚園」10.4%、「国立大学法人立」の幼稚園・保育所はあわせて 0.7%である。

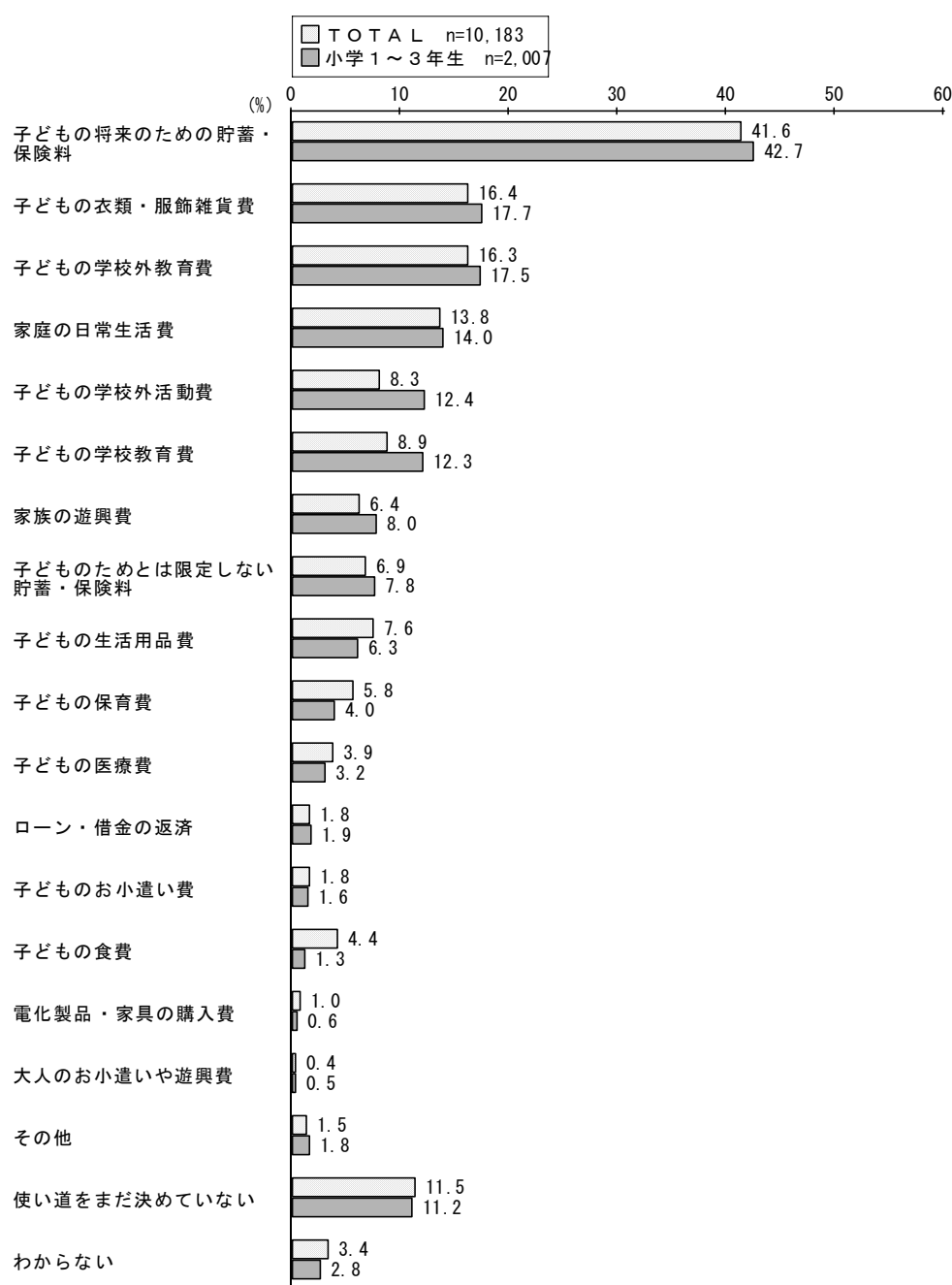
図表II-5-4 長子学齢区分別の子ども手当の使途（予定含む） __4～6 歳



長子学齢区分小学 1～3 年生についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 42.7%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が 17.7%、「子どもの学校外教育費」17.5%、「家庭の日常生活費」14.0%、子どもの楽器演奏・スポーツクラブなどの習い事費が含まれる「学校外活動費」12.4%、「子どもの学校教育費」12.3%、「家族の遊興費」8.0%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 11.2%となっている。

なお、小学 1～3 年生の通学状況については、「公立」92.5%、「私立」4.2%、「国立大学法人立」2.1%である。

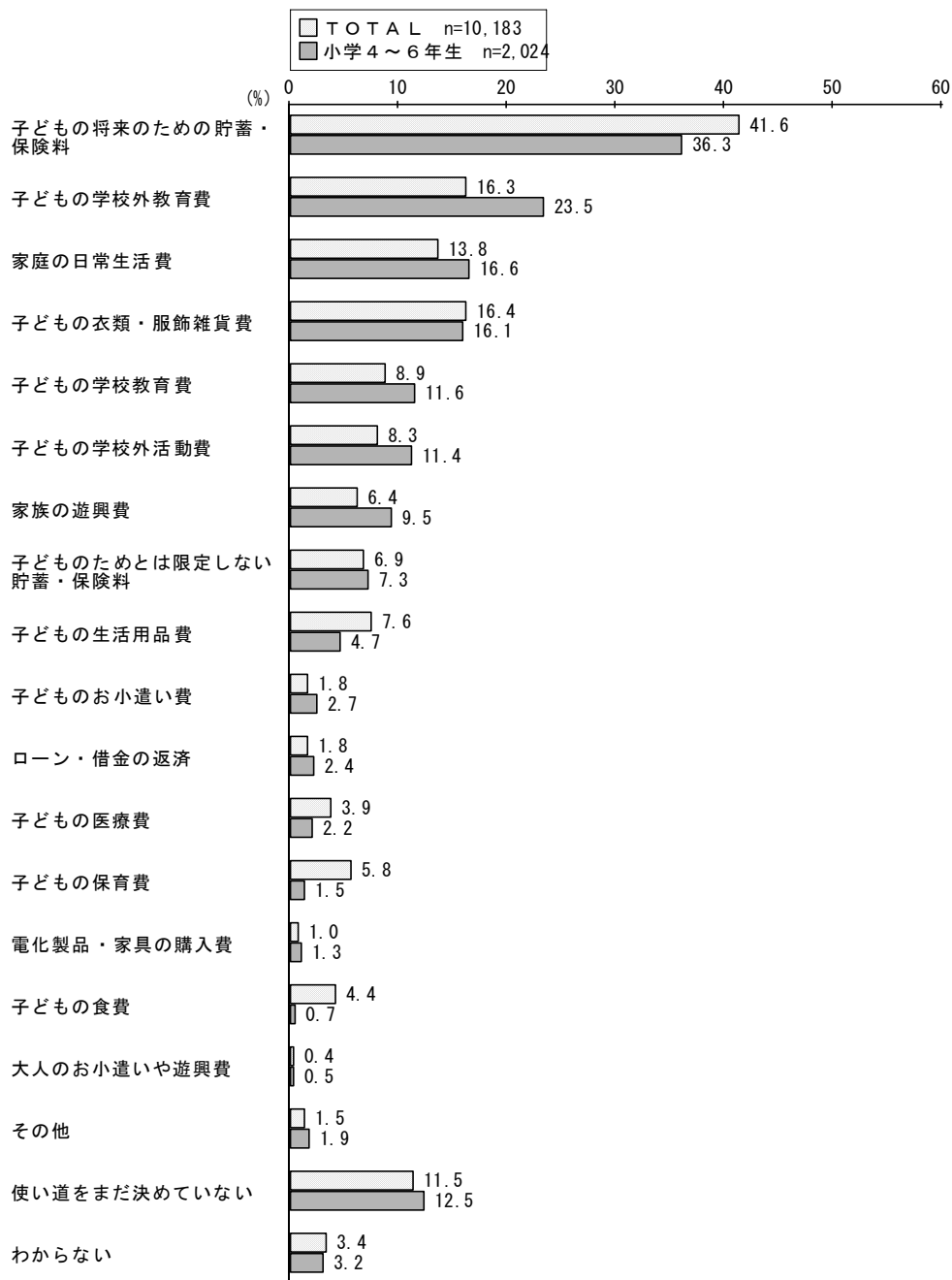
図表II-5-5 長子学齢区分別の子ども手当の使途（予定含む）__小学 1～3 年生



長子学齢区分小学 4～6 年生についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 36.3%で最も高く、次いで、「子どもの学校外教育費」が 23.5%、「家庭の日常生活費」16.6%、「子どもの衣類・服飾雑貨費」16.1%、「子どもの学校教育費」11.6%、「子どもの学校外活動費」11.4%、「家族の遊興費」9.5%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 12.5%となっている。

なお、小学 4～6 年生の通学状況については、「公立」93.8%、「私立」3.9%、「国立大学法人立」1.8%である。

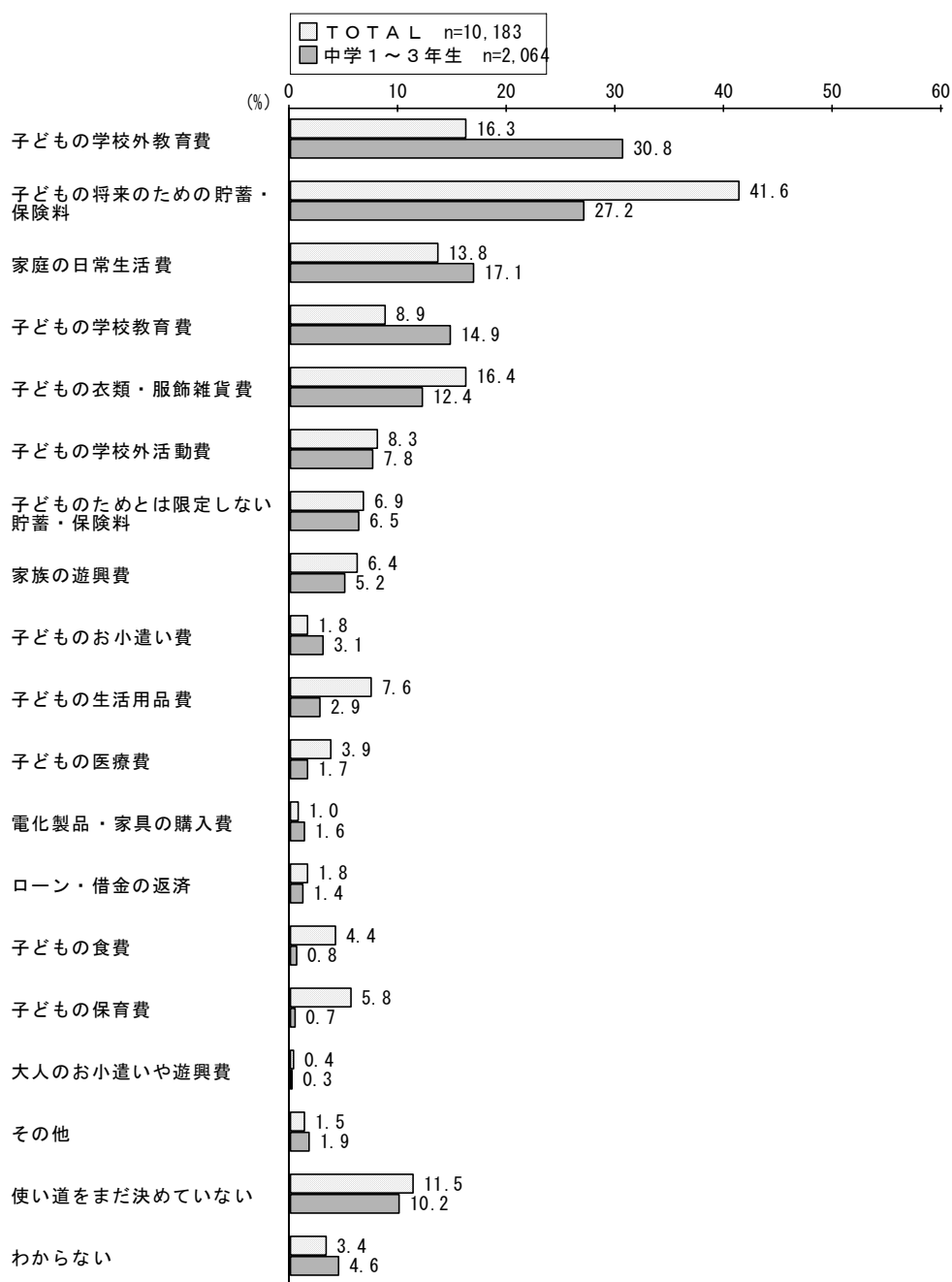
図表II-5-6 長子学齢区分別の子ども手当の使途（予定含む）__小学 4～6 年生



長子学齢区分中学1～3年生についてみると、「子どもの学校外教育費」が30.8%最も高く、次いで、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が27.2%、「家庭の日常生活費」17.1%、「子どもの学校教育費」14.9%、「子どもの衣類・服飾雑貨費」12.4%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は10.2%となっている。

なお、中学1～3年生の通学状況については、「公立」84.1%、「私立」13.3%、「国立大学法人立」1.8%である。

図表II-5-7 長子学齢区分別の子ども手当の使途（予定含む）__中学1～3年生



③ 世帯年収階級別

世帯年収階級別にみると、最も割合の高い項目はいずれも「子どもの将来のための貯蓄・保険料」となっている。

世帯年収階級別に TOTAL とのポイント差について比較すると、300 万円未満では、「家庭の日常生活費」が 10 ポイント以上、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が 5 ポイント以上高い。一方、1,000 万円以上では、「子どもの衣類・服飾雑貨費」「家庭の日常生活費」が 5 ポイント以上低く、「使い道をまだ決めていない」が 5 ポイント以上高い。

「家庭の日常生活費」の 300 万円未満と 1,000 万円以上とのポイント差は、17.6 ポイントである。

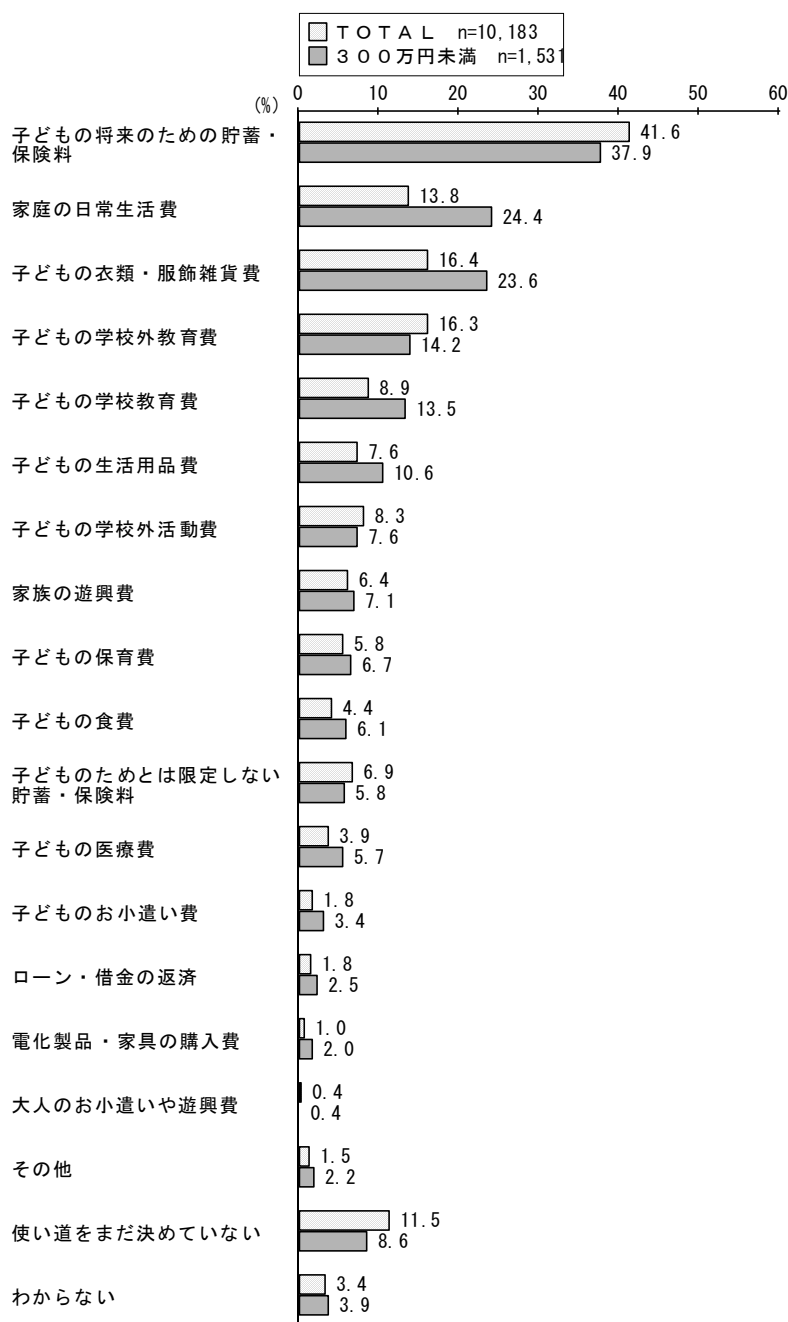
図表II-5-8 世帯年収階級別の子ども手当の使途（予定含む）

* 年収区分	世帯年収	n	保険料	子どもの衣類・服飾雑貨費	子どもの学校外教育費	家庭の日常生活費	子どもの学校教育費	子どもの学校外活動費	子どもの生活用品費	貯蓄・保険料	家族の遊興費	子どもの保育費
			子どもの将来のための貯蓄・							子どものためとは限定しない		
0	TOTAL	10,183	41.6	16.4	16.3	13.8	8.9	8.3	7.6	6.9	6.4	5.8
1	300万円未満	1,531	37.9	23.6	14.2	24.4	13.5	7.6	10.6	5.8	7.1	6.7
2	300～600万円未満	3,477	42.0	18.0	15.6	15.6	10.4	8.3	8.4	6.9	7.0	6.6
3	600～1,000万円未満	3,546	44.1	14.2	17.8	10.8	6.6	8.7	6.7	7.3	6.1	4.7
4	1,000万円以上	1,629	38.6	10.9	16.8	6.8	6.6	8.0	4.8	7.2	5.1	5.6

* 年収区分	世帯年収	n	子どもの食費	子どもの医療費	子どものお小遣い費	ローン・借金の返済	電化製品・家具の購入費	大人のお小遣いや遊興費	その他	使い道をまだ決めていない	わからない
			0	TOTAL	10,183	4.4	3.9	1.8	1.8	1.0	0.4
1	300万円未満	1,531	6.1	5.7	3.4	2.5	2.0	0.4	2.2	8.6	3.9
2	300～600万円未満	3,477	5.0	4.3	2.1	2.5	1.1	0.5	1.5	10.1	3.4
3	600～1,000万円未満	3,546	3.7	3.2	1.2	1.4	0.7	0.5	1.2	11.6	3.3
4	1,000万円以上	1,629	2.9	3.1	1.2	0.6	0.3	0.2	1.9	17.0	3.4

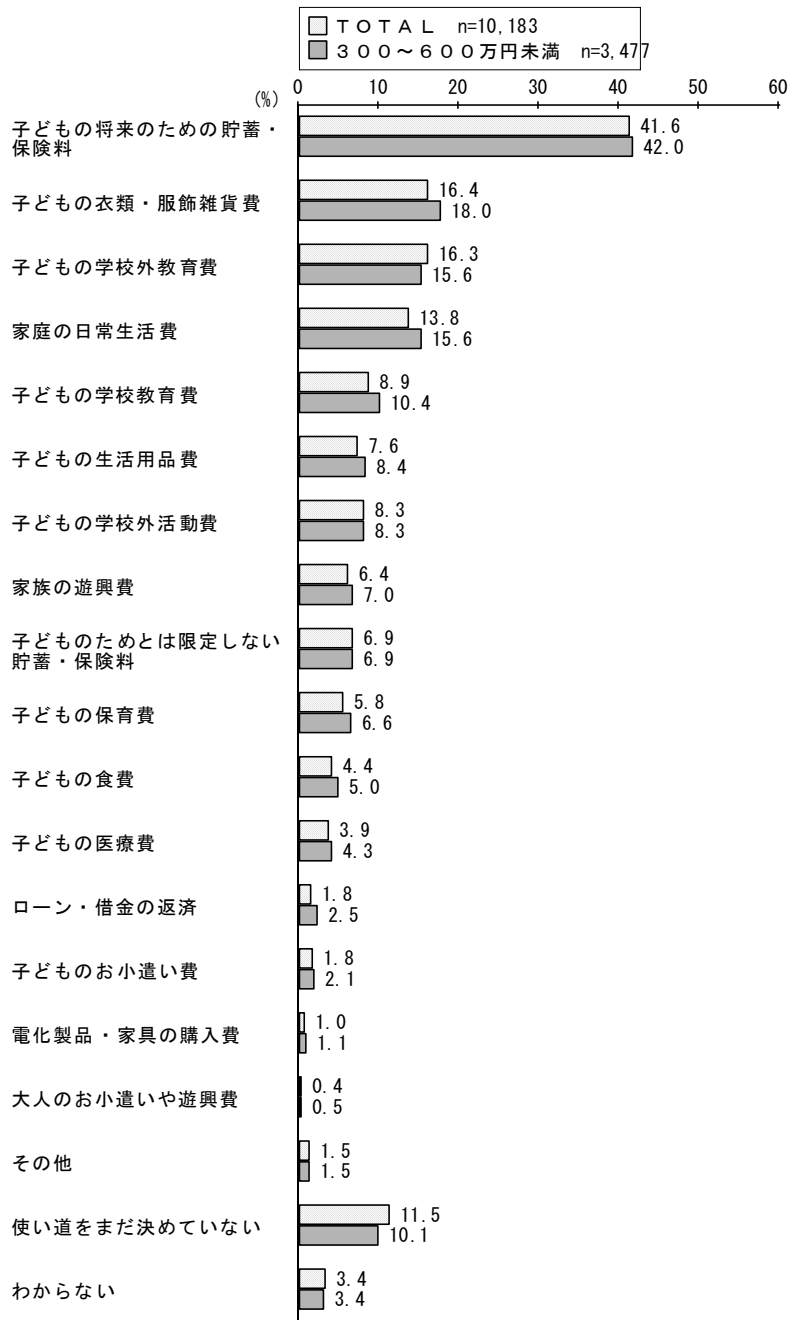
世帯年収階級 300 万円未満についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 37.9%で最も高く、次いで、「家庭の日常生活費」が 24.4%、「子どもの衣類・服飾雑貨費」23.6%、「子どもの学校外教育費」14.2%、「子どもの学校教育費」13.5%、「子どもの生活用品費」10.6%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 8.6%となっている。

図表II-5-9 世帯年収階級別の子ども手当の使途（予定含む）__300 万円未満



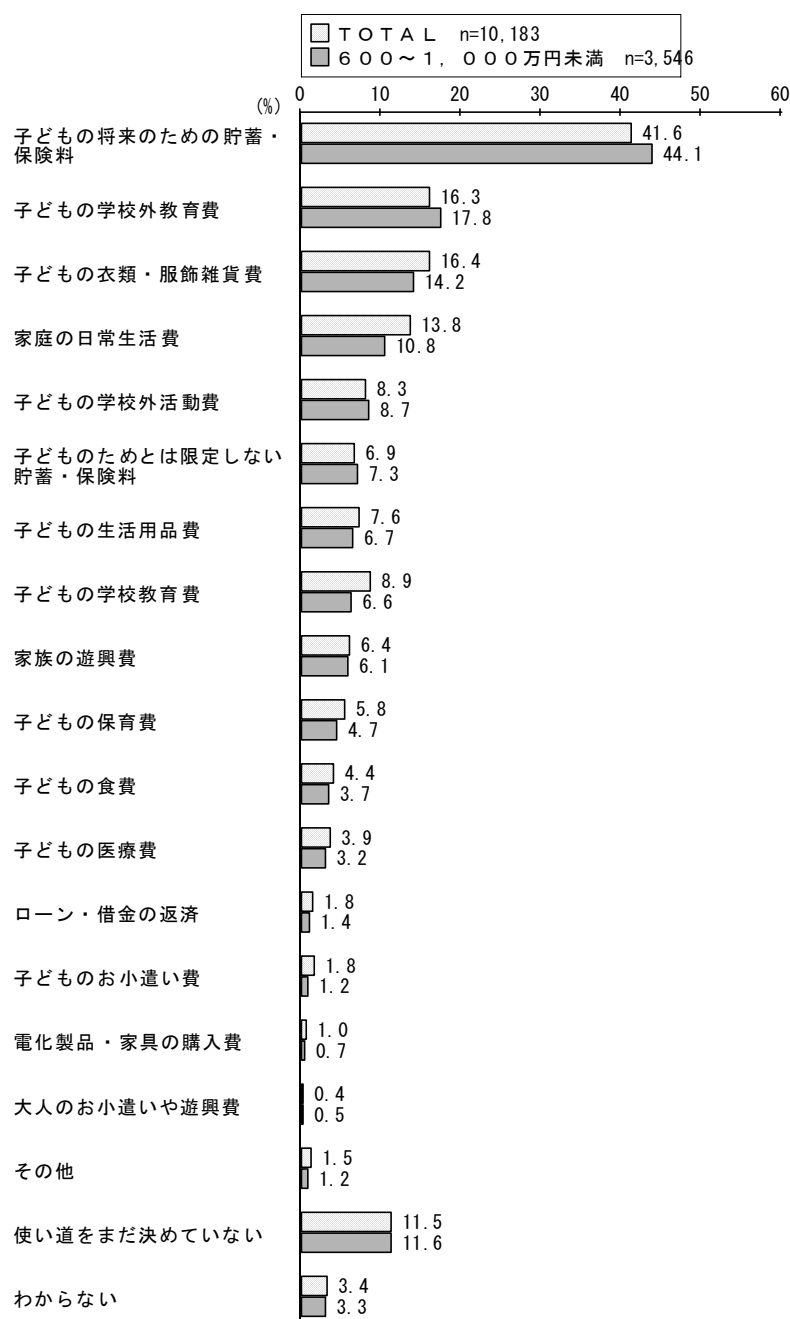
世帯年収階級 300～600 万円未満についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 42.0%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が 18.0%、「子どもの学校外教育費」と「家庭の日常生活費」が 15.6%、「子どもの学校教育費」10.4%、「子どもの生活用品費」8.4%、「子どもの学校外活動費」8.3%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 10.1%となっている。

図表II-5-10 世帯年収階級別の子ども手当の使途（予定含む）__300～600 万円未満



世帯年収階級 600～1,000 万円未満についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 44.1%で最も高く、次いで、「子どもの学校外教育費」が 17.8%、「子どもの衣類・服飾雑貨費」14.2%、「家庭の日常生活費」10.8%、「子どもの学校外活動費」8.7%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 11.6%となっている。

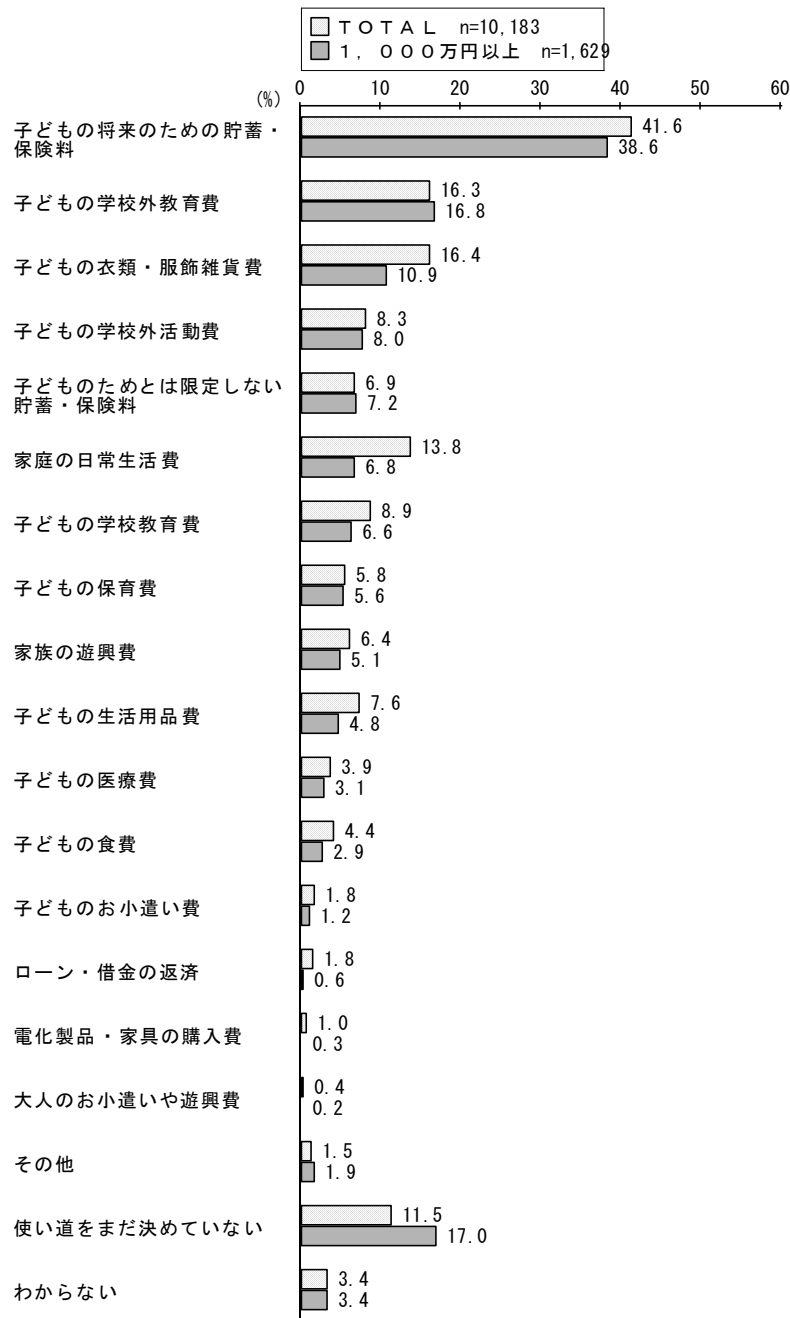
図表II-5-11 世帯年収階級別の子ども手当の使途（予定含む）_600～1,000 万円未満



世帯年収階級 1,000 万円以上についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 38.6%で最も高く、次いで、「子どもの学校外教育費」が 16.8%、「子どもの衣類・服飾雑貨費」10.9%、「子どもの学校外活動費」8.0%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 17.0%となっている。

他の世帯年収階級において 1 割以上を占めている「家庭の日常生活費」は、6.8%に留まる。

図表II-5-12 世帯年収階級別の子ども手当の使途（予定含む）_1,000万円以上



④ 世帯構成別

世帯構成別にみると、最も割合の高い項目は、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」となっている。

世帯構成別に TOTAL とのポイント差について比較すると、一人親世帯では、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が 10 ポイント以上、「家庭の日常生活費」「家族の遊興費」「子どもの学校教育費」「子どもの学校外教育費」が 5 ポイント以上高く、「使い道をまだ決めていない」が 5 ポイント以上低い。正社員×正社員世帯では、「子どもの学校外教育費」「家庭の日常生活費」が 5 ポイント以上低い。自営業世帯では、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 5 ポイント以上低い。

「子どもの学校外教育費」は、正社員×正社員世帯では 11.1%、正社員×パート世帯では 21.2%であり、共働き世帯内においても、子どもの母親の就業状況により 10.1 ポイントの差がある。

図表II-5-13 世帯構成別の子ども手当の使途（予定含む）

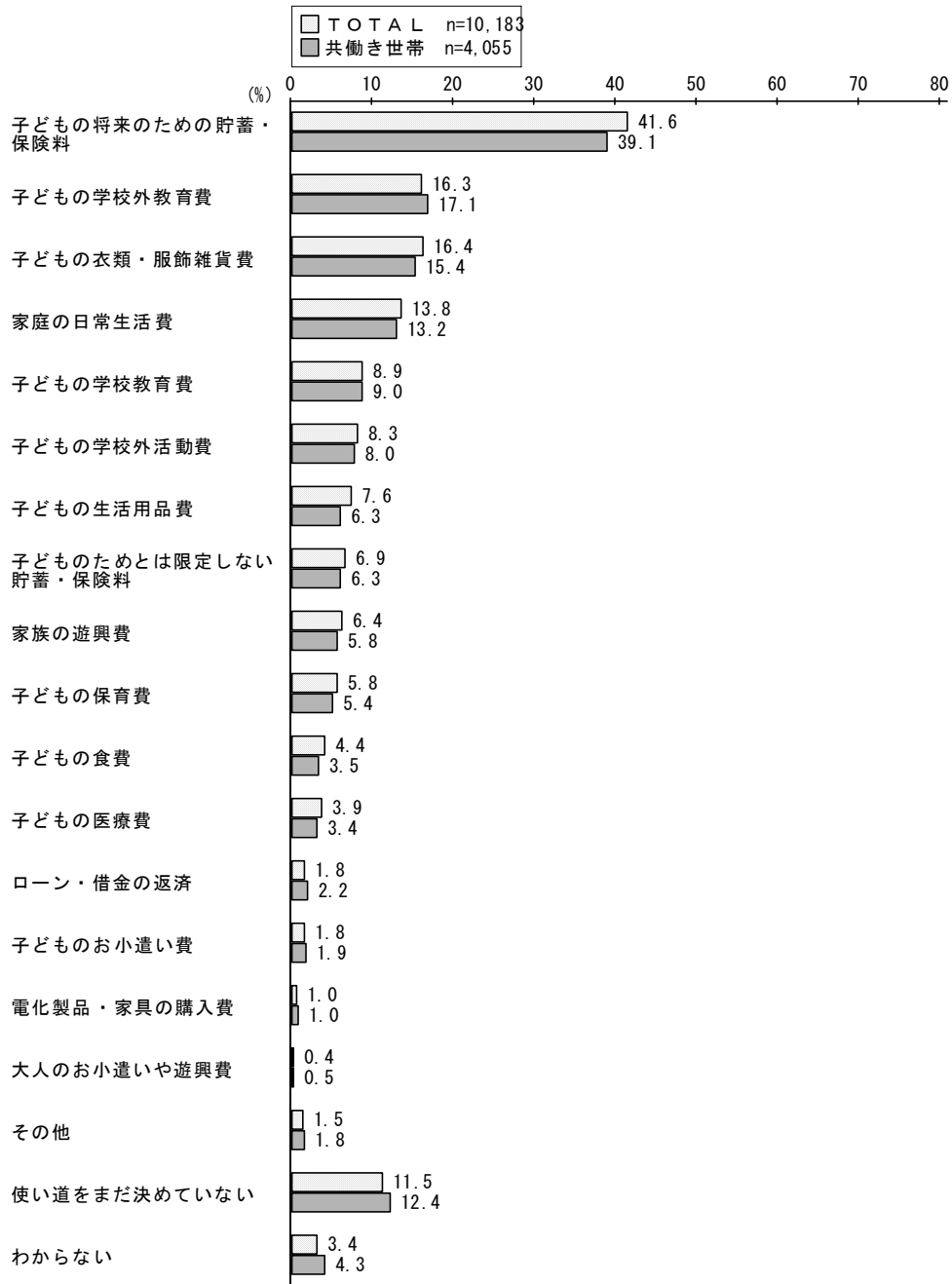
* 世帯構成区分		n	保険料 子どもの将来のための貯蓄・	子どもの衣類・ 服飾雑貨費	子どもの学校外 教育費	家庭の日常生 活費	子どもの学校 教育費	子どもの学校 外活動費	子どもの生活用 品費	貯蓄・保険料 子どものため とは限定しな い	家族の遊興 費	子どもの保育 費
0	TOTAL	10,183	41.6	16.4	16.3	13.8	8.9	8.3	7.6	6.9	6.4	5.8
1	共働き世帯	4,055	39.1	15.4	17.1	13.2	9.0	8.0	6.3	6.3	5.8	5.4
2	片働き世帯	5,534	44.0	16.1	15.4	13.6	8.1	8.1	8.2	7.4	6.4	6.4
3	一人親世帯	287	37.3	26.8	22.3	22.0	15.0	13.2	11.1	6.6	12.9	1.7
4	(再掲) 正社員×正社員世帯	1,152	42.9	13.8	11.1	7.0	4.5	6.4	6.6	6.8	4.3	5.8
5	正社員×パート世帯	1,670	39.0	14.7	21.2	15.6	10.5	8.4	5.7	6.5	7.1	4.3
6	正社員×主婦世帯	4,542	45.1	15.7	15.4	12.4	7.6	8.1	8.1	7.5	6.3	6.5
7	自営業世帯	841	35.8	16.8	16.9	17.4	11.8	9.3	7.3	5.0	5.7	6.1

* 世帯構成区分		n	子どもの食費	子どもの医療費	子どものお小遣い費	ローン・借金の返済	電化製品・家具の購入費	大人のお小遣いや遊興費	その他	使い道をまだ決めていない	わからない
0	TOTAL	10,183	4.4	3.9	1.8	1.8	1.0	0.4	1.5	11.5	3.4
1	共働き世帯	4,055	3.5	3.4	1.9	2.2	1.0	0.5	1.8	12.4	4.3
2	片働き世帯	5,534	5.1	4.4	1.4	1.6	0.8	0.4	1.3	11.2	2.8
3	一人親世帯	287	2.1	2.1	4.2	0.7	3.8	0.7	3.1	6.3	2.4
4	(再掲) 正社員×正社員世帯	1,152	5.8	3.3	1.6	1.2	0.6	0.4	1.8	15.9	3.0
5	正社員×パート世帯	1,670	2.0	2.9	2.0	2.8	1.1	0.4	1.7	10.0	4.3
6	正社員×主婦世帯	4,542	5.2	4.2	1.2	1.6	0.7	0.4	1.2	11.2	2.6
7	自営業世帯	841	4.0	3.8	2.4	1.7	1.4	0.6	1.7	12.4	4.9

共働き世帯についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 39.1%で最も高く、次いで、「子どもの学校外教育費」が 17.1%、「子どもの衣類・服飾雑貨費」15.4%、「家庭の日常生活費」13.2%、「子どもの学校教育費」9.0%、「子どもの学校外活動費」8.0%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 12.4%となっている。

なお、共働き世帯は全体の 41.7%である。

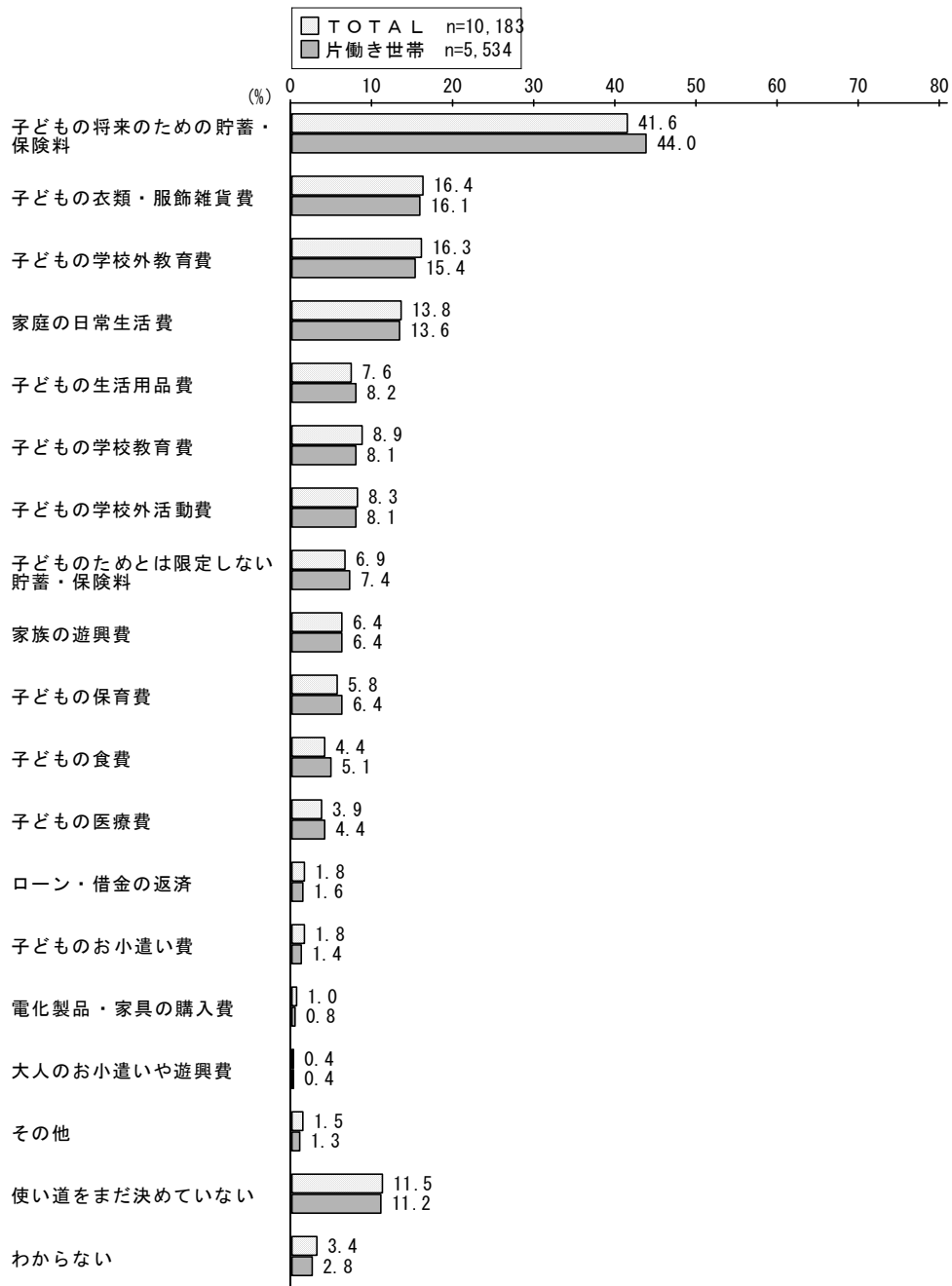
図表II-5-14 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途（予定含む）_両親のいる世帯_共働き世帯



片働き世帯についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が44.0%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が16.1%、「子どもの学校外教育費」15.4%、「家庭の日常生活費」13.6%、「子どもの生活用品費」8.2%、「子どもの学校教育費」と「子どもの学校外活動費」が8.1%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は11.2%となっている。

なお、片働き世帯は全体の56.9%である。

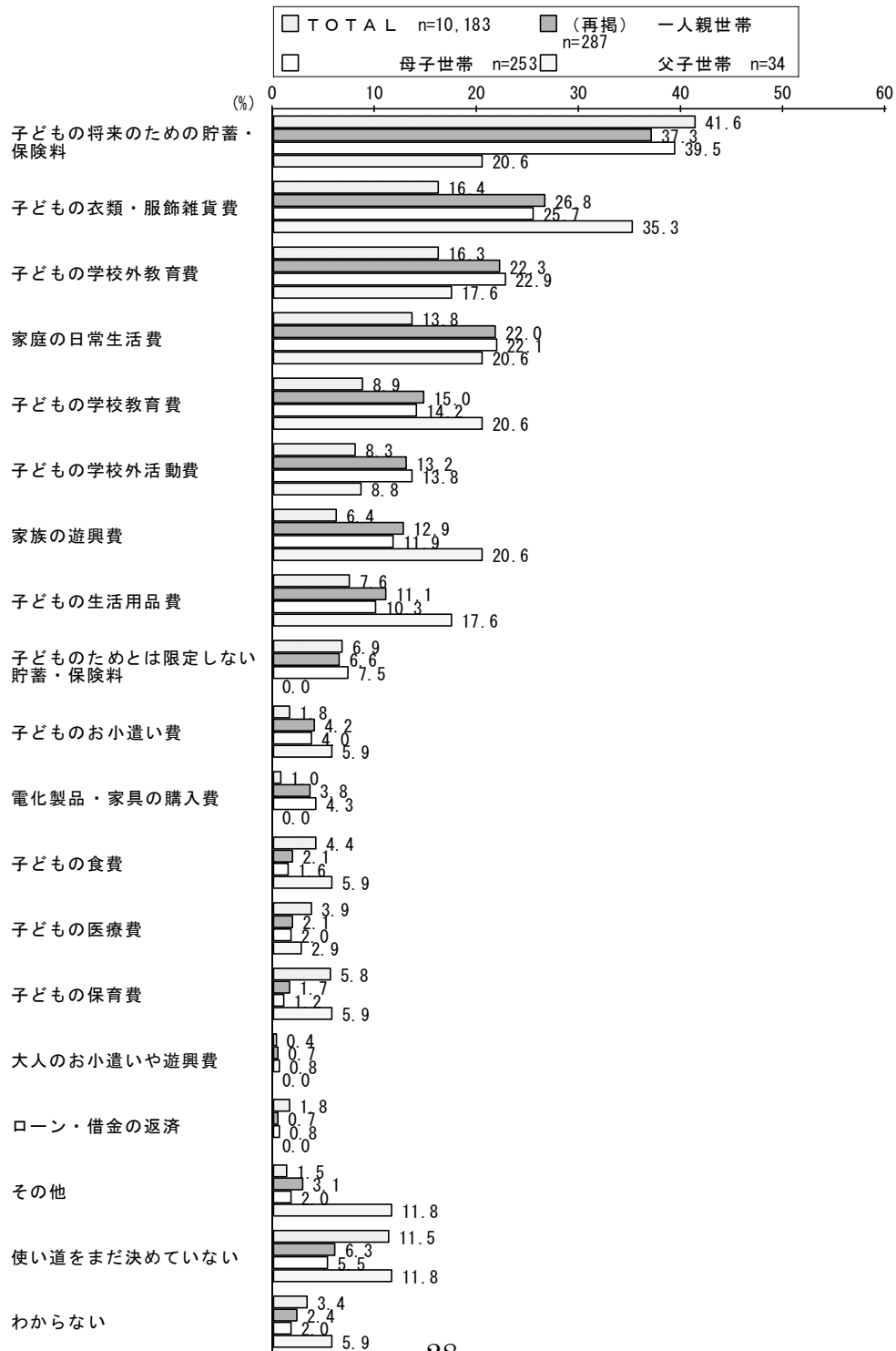
図表II-5-15 子どもの親の就業状況別の子ども手当の使途（予定含む）_両親のいる世帯_片働き世帯



一人親世帯についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 37.3%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が 26.8%、「子どもの学校外教育費」22.3%、「家庭の日常生活費」22.0%、「子どもの学校教育費」15.0%、「子どもの学校外活動費」13.2%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 6.3%となっている。

なお、一人親世帯のうち母子世帯は 88.2%、父子世帯は 11.8%であり、一人親世帯の回答傾向は母子世帯の回答傾向を示し、父子世帯はサンプル数が 34 サンプルと少ないため、参考値として掲載する。

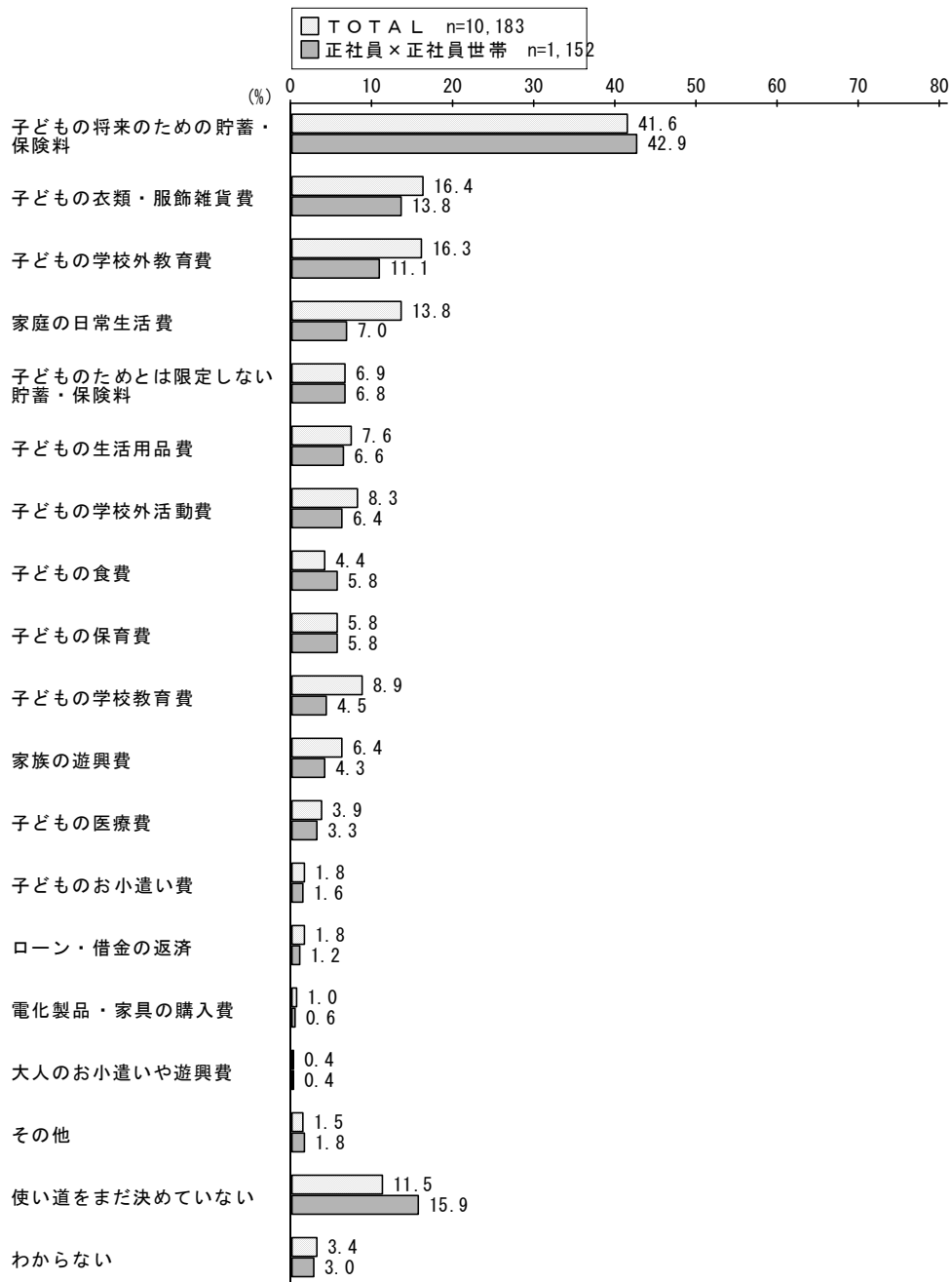
図表II-5-16 世帯構成別の子ども手当の使途（予定含む）__一人親世帯



正社員×正社員世帯についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 42.9%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が 13.8%、「子どもの学校外教育費」11.1%、「家庭の日常生活費」7.0%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 15.9%となっている。

なお、正社員×正社員世帯は全体の 11.3%である。

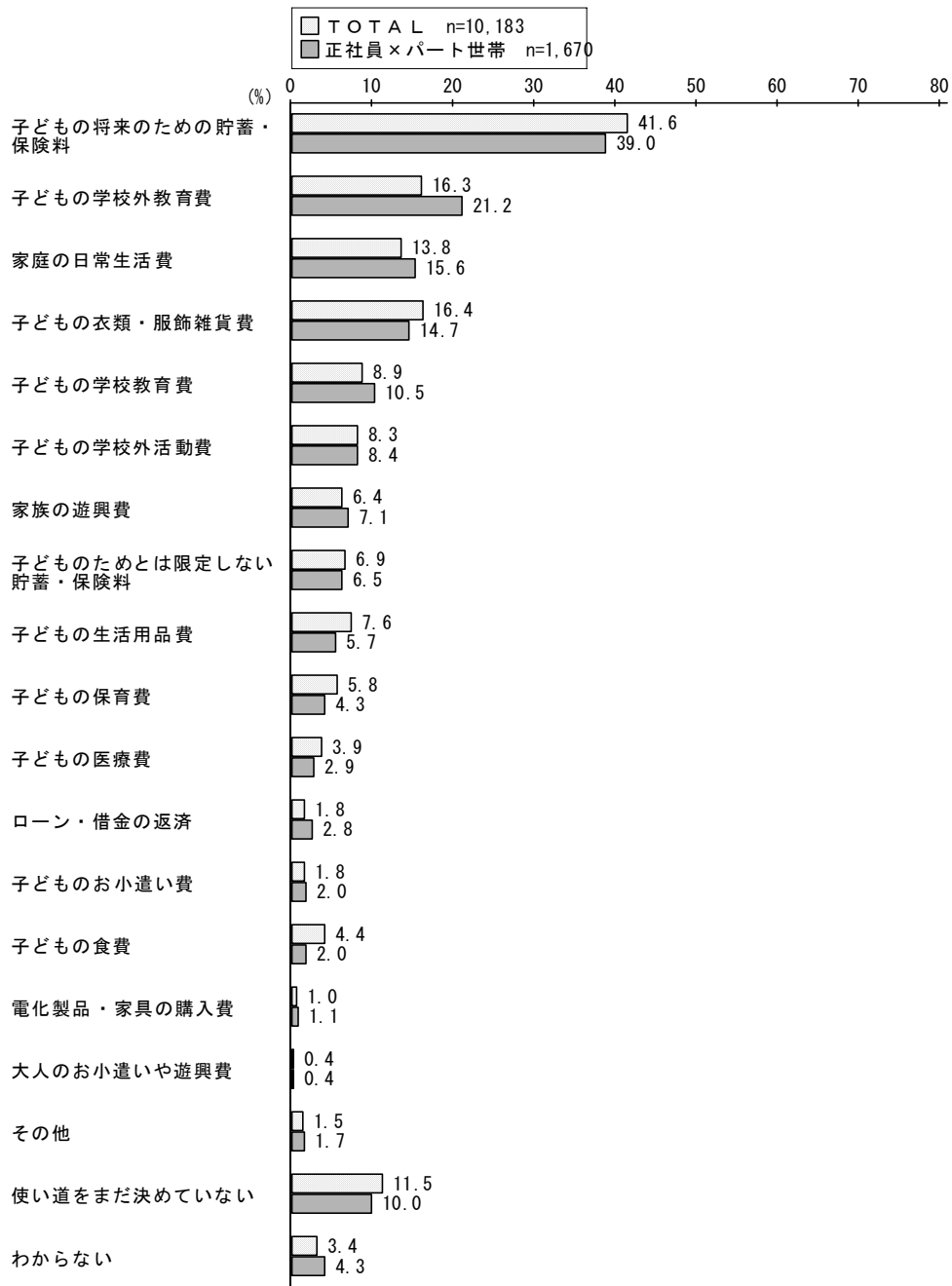
図表II-5-17 世帯構成別の子ども手当の使途（予定含む）_両親のいる世帯_正社員×正社員世帯



正社員×パート世帯についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 39.0%で最も高く、次いで、「子どもの学校外教育費」が 21.2%、「家庭の日常生活費」15.6%、「子どもの衣類・服飾雑貨費」14.7%、「子どもの学校教育費」10.5%、「子どもの学校外活動費」8.4%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 10.0%となっている。

なお、正社員×パート世帯は全体の 16.4%である。

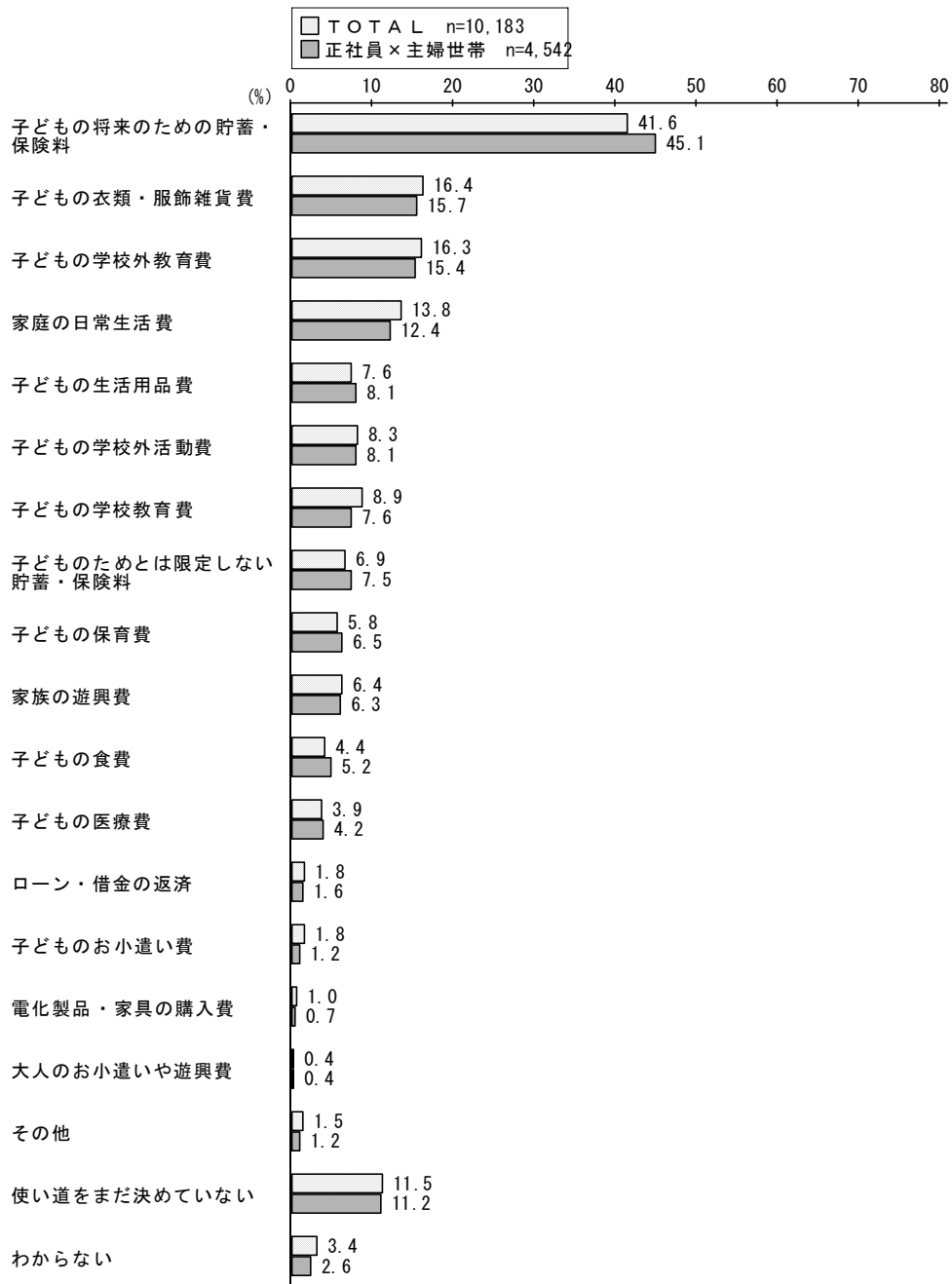
図表II-5-18 世帯構成別の子ども手当の使途（予定含む）_両親のいる世帯_正社員×パート世帯



正社員×主婦世帯についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が45.1%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が15.7%、「子どもの学校外教育費」15.4%、「家庭の日常生活費」12.4%、「子どもの生活用品費」と「子どもの学校外活動費」が8.1%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は11.2%となっている。

なお、正社員×主婦世帯は全体の44.6%である。

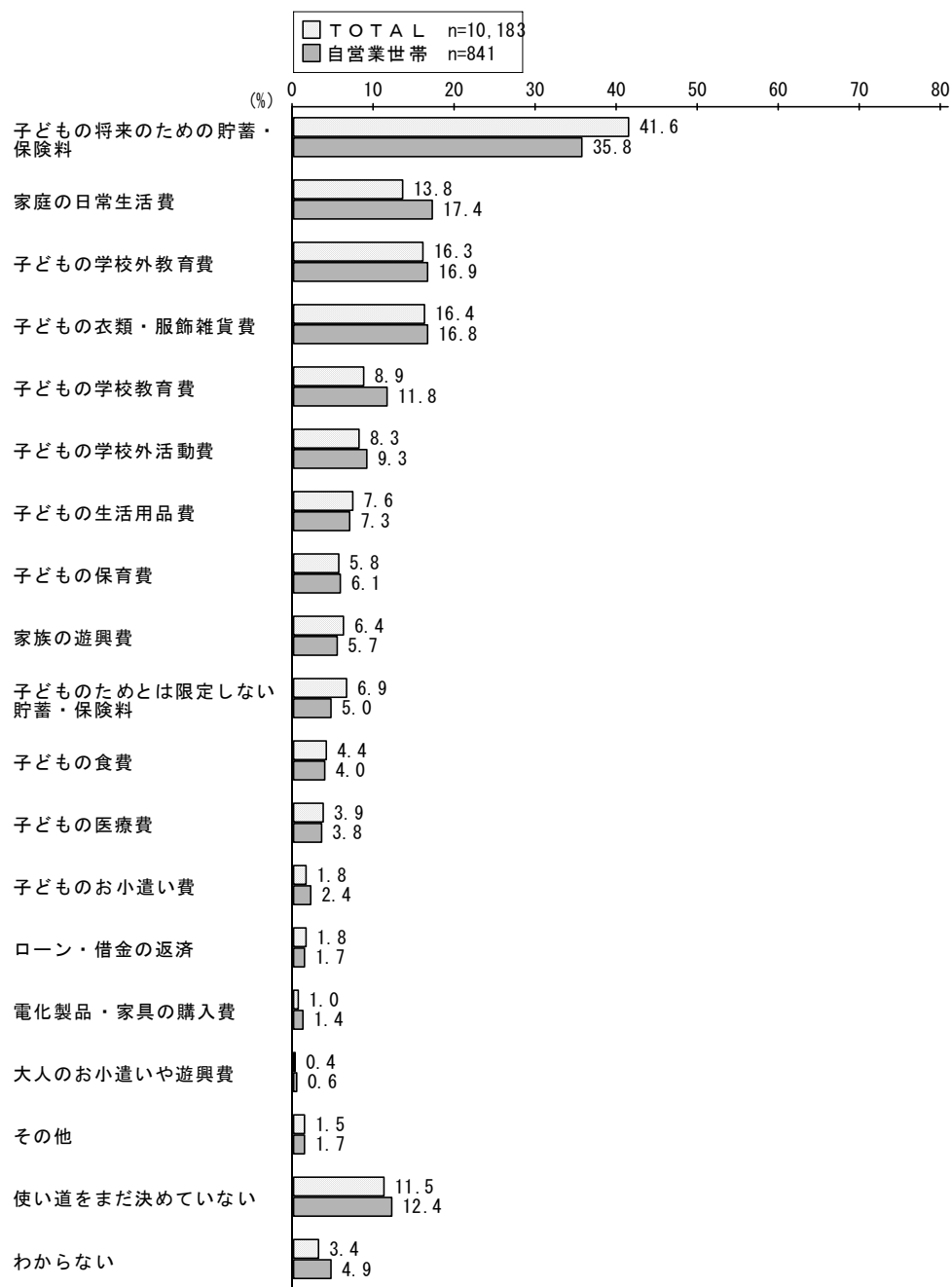
図表II-5-19 世帯構成別の子ども手当の使途（予定含む）_両親のいる世帯_正社員×主婦世帯



自営業世帯についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 35.8%で最も高く、次いで、「家庭の日常生活費」が 17.4%、「子どもの学校外教育費」16.9%、「子どもの衣類・服飾雑貨費」16.8%、「子どもの学校教育費」11.8%、「子どもの学校外活動費」9.3%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 12.4%となっている。

なお、自営業世帯は全体の 8.3%である。

図表II-5-20 世帯構成別の子ども手当の使途（予定含む）__両親のいる世帯__自営業世帯



⑤ 居住地域別

居住地域別にみると、最も割合の高い項目はいずれも「子どもの将来のための貯蓄・保険料」となっている。

居住地域別に TOTAL とのポイント差について比較すると、中国・四国では、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が5ポイント以上高い。

「子どもの将来のための貯蓄・保険料」は、中国・四国で最も高く48.6%、関東で最も低く39.3%であり、9.3ポイントの差となっている。

「子どもの衣類・服飾雑貨費」は、九州・沖縄で最も高く21.1%、関東で最も低く14.9%であり、6.2ポイントの差となっている。

「家庭の日常生活費」は、九州・沖縄で最も高く18.0%、近畿及び中国・四国で最も低く13.0%であり、5.0ポイントの差となっている。

なお、北海道・東北、中部・北陸及び九州・沖縄の上位4項目は、同項目・同順位（中国・四国は上位2項目が同項目・同順位）、関東及び近畿の上位6項目は、同項目・同順位となっている。

図表II-5-21 居住地域別の子ども手当の使途（予定含む）

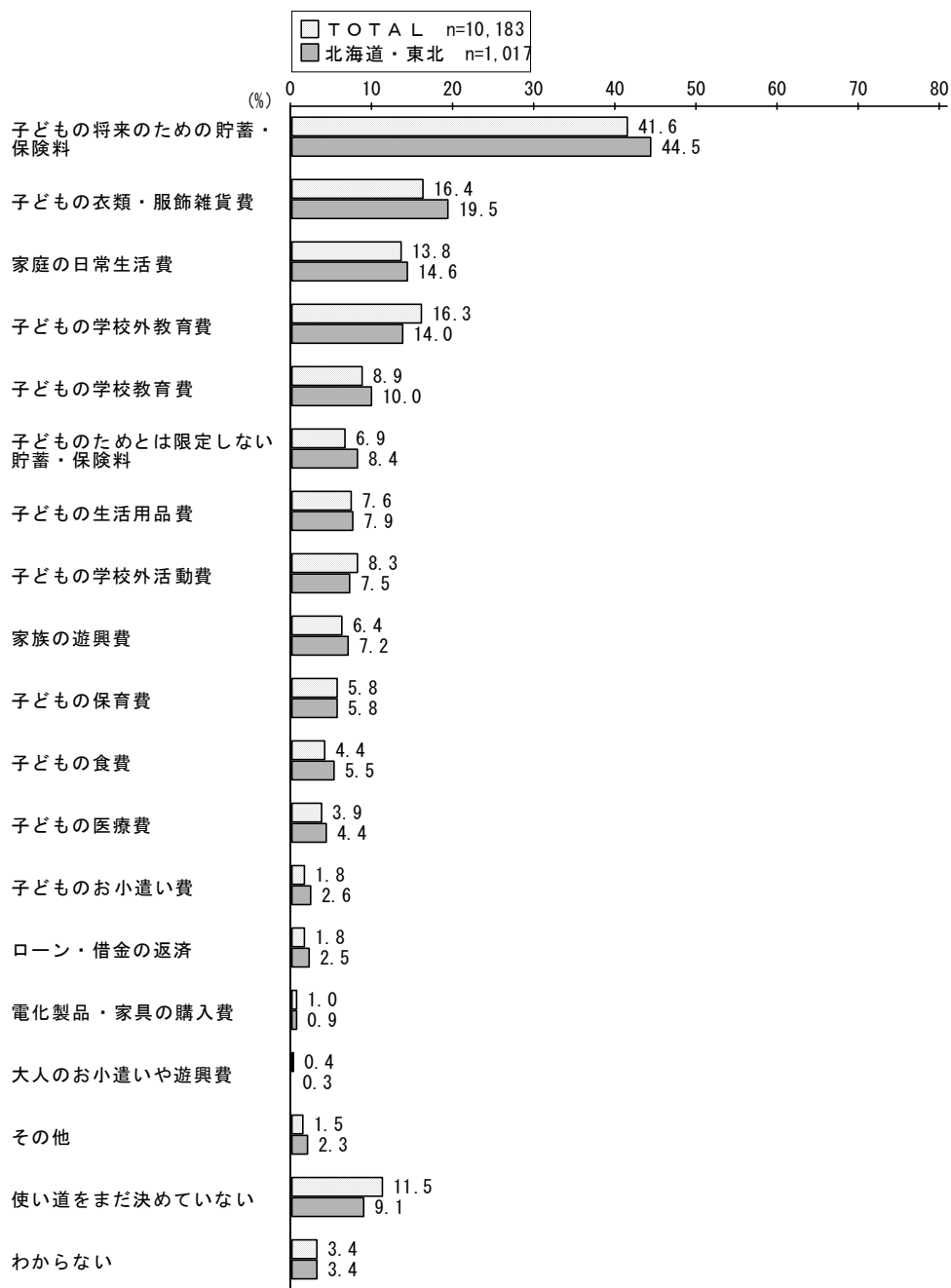
* 地方区分		n	保険料 子どもの将来のための貯蓄・	子どもの衣類・服飾雑貨費	子どもの学校外教育費	家庭の日常生活費	子どもの学校教育費	子どもの学校外活動費	子どもの生活用品費	貯蓄・保険料 子どものためとは限定しない	家族の遊興費	子どもの保育費
0	TOTAL	10,183	41.6	16.4	16.3	13.8	8.9	8.3	7.6	6.9	6.4	5.8
1	北海道・東北	1,017	44.5	19.5	14.0	14.6	10.0	7.5	7.9	8.4	7.2	5.8
2	関東	4,060	39.3	14.9	17.8	13.2	8.8	8.7	7.2	7.2	6.1	6.5
3	中部・北陸	1,604	41.7	16.7	13.5	14.1	6.9	7.2	7.4	6.6	6.5	5.9
4	近畿	1,912	41.5	15.3	17.4	13.0	9.5	8.2	7.6	6.4	5.5	5.1
5	中国・四国	753	48.6	17.3	13.8	13.0	9.7	7.3	8.0	6.1	7.8	4.6
6	九州・沖縄	837	42.5	21.1	17.1	18.0	9.8	10.2	9.2	6.0	7.0	4.8

* 地方区分		n	子どもの食費	子どもの医療費	子どものお小遣い費	ローン・借金の返済	電化製品・家具の購入費	大人のお小遣いや遊興費	その他	使い道をまだ決めていない	わからない
0	TOTAL	10,183	4.4	3.9	1.8	1.8	1.0	0.4	1.5	11.5	3.4
1	北海道・東北	1,017	5.5	4.4	2.6	2.5	0.9	0.3	2.3	9.1	3.4
2	関東	4,060	3.9	3.6	1.4	1.6	0.9	0.5	1.4	12.6	3.2
3	中部・北陸	1,604	4.6	3.6	1.9	1.8	0.7	0.3	1.6	10.6	3.9
4	近畿	1,912	4.0	3.7	1.9	1.3	1.2	0.4	1.6	12.4	3.5
5	中国・四国	753	4.2	4.6	2.5	2.9	1.1	0.4	1.2	10.2	3.9
6	九州・沖縄	837	5.9	5.5	1.9	1.9	1.3	0.7	1.6	9.9	3.2

北海道・東北についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が44.5%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が19.5%、「家庭の日常生活費」14.6%、「子どもの学校外教育費」14.0%、「子どもの学校教育費」10.0%、「子どものためとは限定しない貯蓄・保険料」8.4%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は9.1%となっている。

なお、北海道・東北は全体の10.0%である。

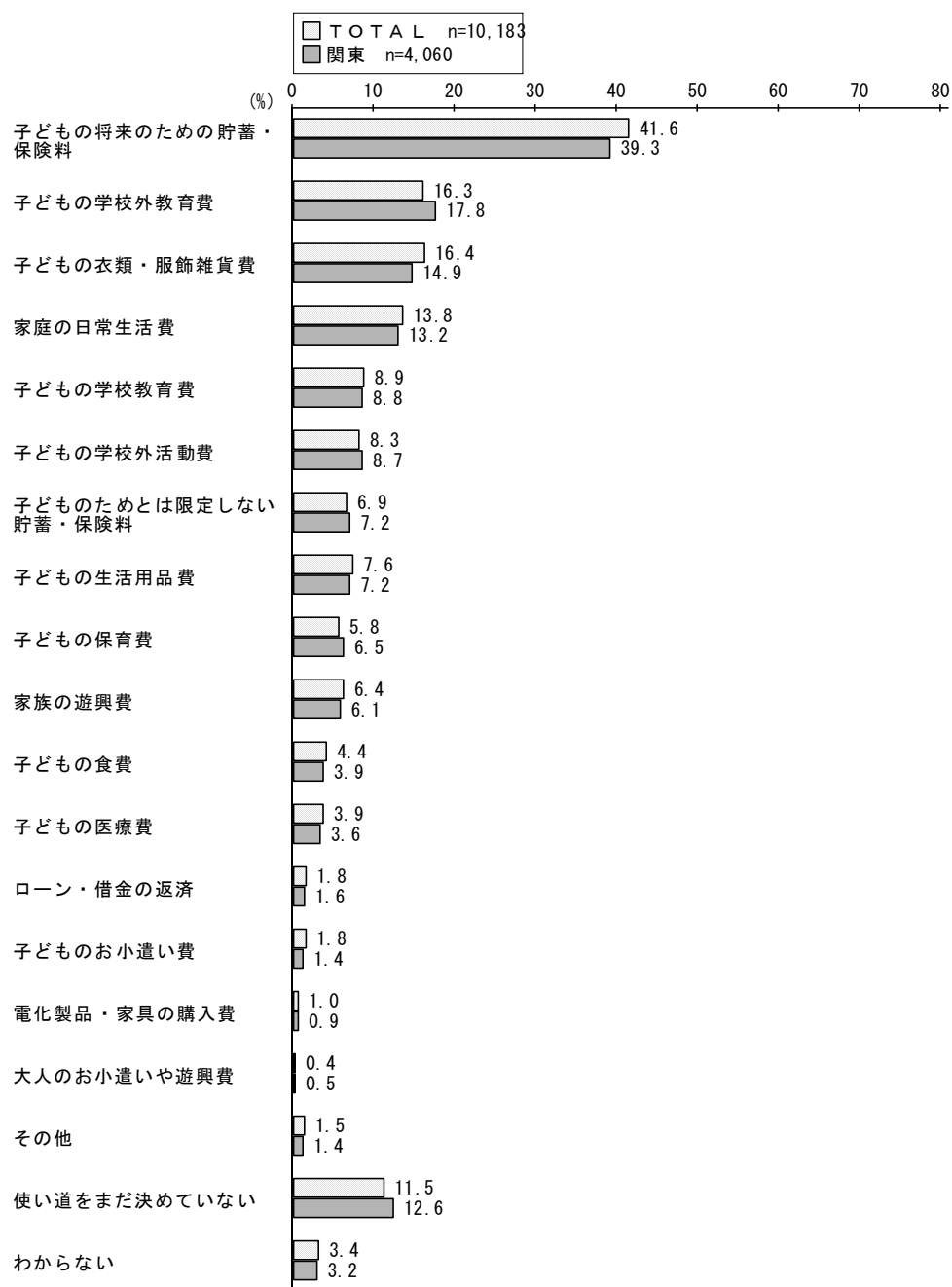
図表II-5-22 居住地域別の子ども手当の使途（予定含む）__北海道・東北



関東についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が39.3%で最も高く、次いで、「子どもの学校外教育費」が17.8%、「子どもの衣類・服飾雑貨費」14.9%、「家庭の日常生活費」13.2%、「子どもの学校教育費」8.8%、「子どもの学校外活動費」8.7%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は12.6%となっている。

なお、関東は全体の39.9%である。

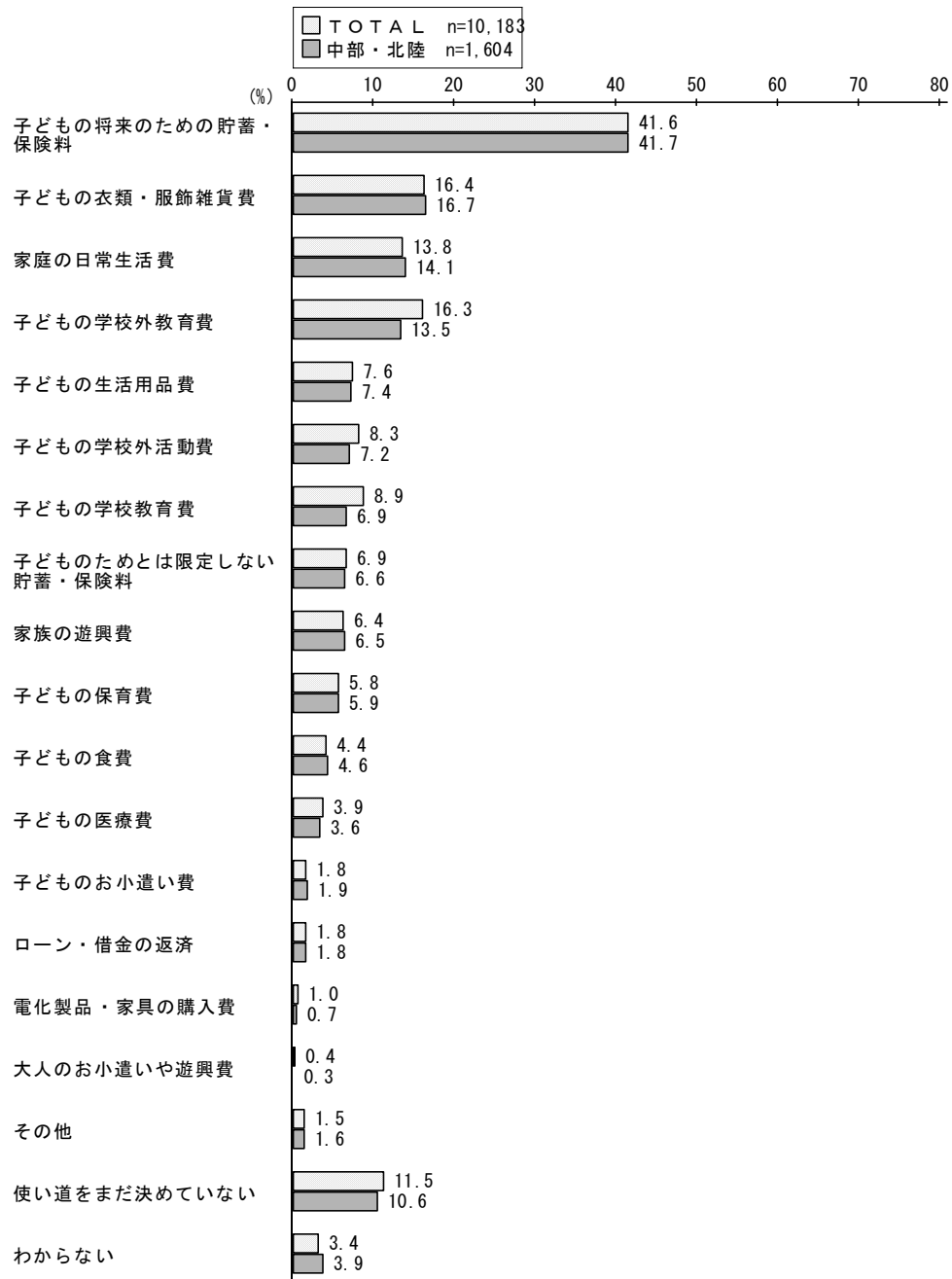
図表II-5-23 居住地域別の子ども手当の使途（予定含む）__関東



中部・北陸についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 41.7%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が 16.7%、「家庭の日常生活費」14.1%、「子どもの学校外教育費」13.5%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 10.6%となっている。

なお、中部・北陸は全体の 15.8%である。

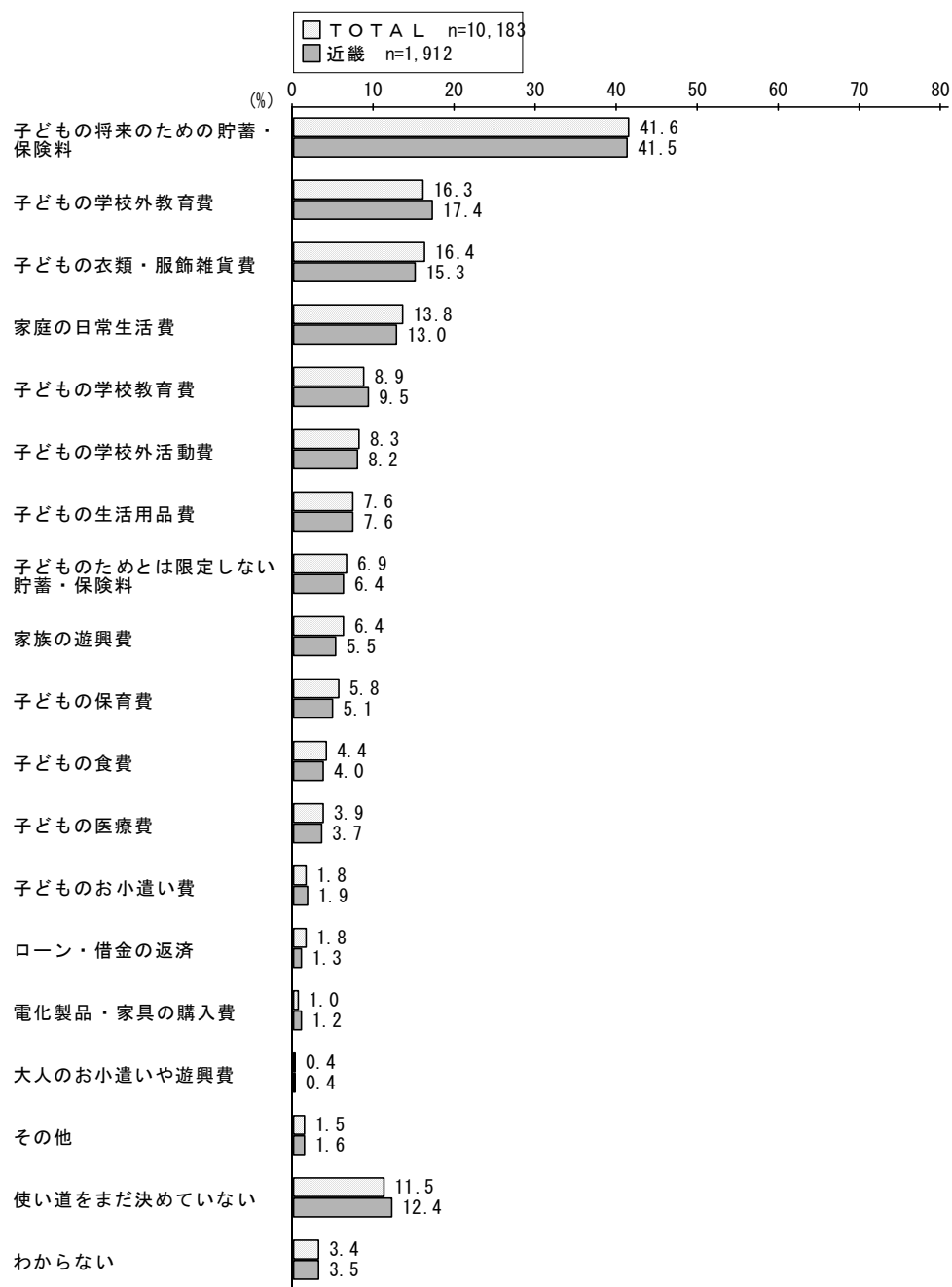
図表II-5-24 居住地域別の子ども手当の使途（予定含む）__中部・北陸



近畿についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が41.5%で最も高く、次いで、「子どもの学校外教育費」が17.4%、「子どもの衣類・服飾雑貨費」15.3%、「家庭の日常生活費」13.0%、「子どもの学校教育費」9.5%、「子どもの学校外活動費」8.2%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は12.4%となっている。

なお、近畿は全体の18.8%である。

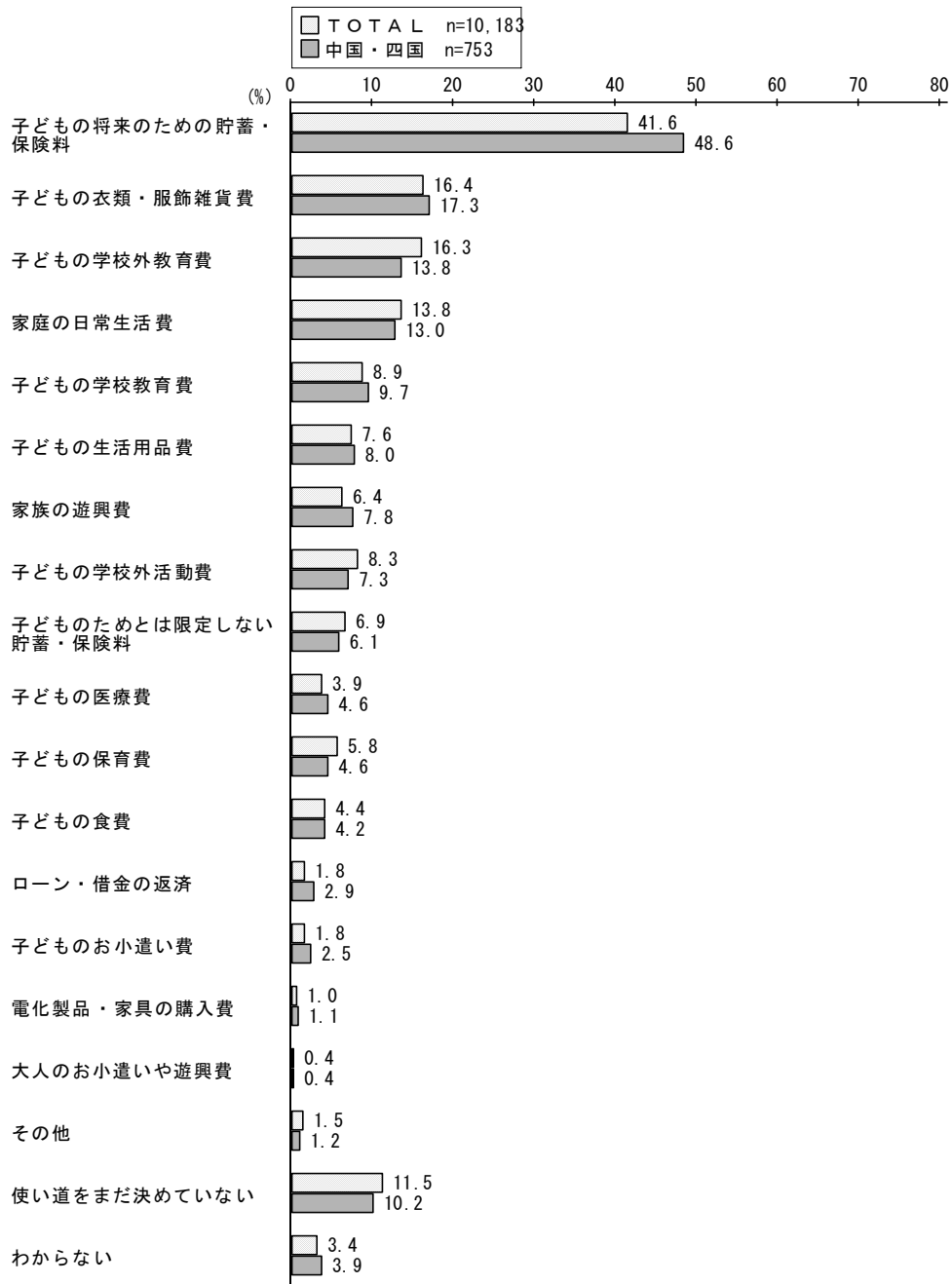
図表II-5-25 居住地域別の子ども手当の使途（予定含む）__近畿



中国・四国についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が 48.6%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が 17.3%、「子どもの学校外教育費」13.8%、「家庭の日常生活費」13.0%、「子どもの学校教育費」9.7%、「子どもの生活用品費」8.0%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は 10.2%となっている。

なお、中国・四国は全体の 7.4%である。

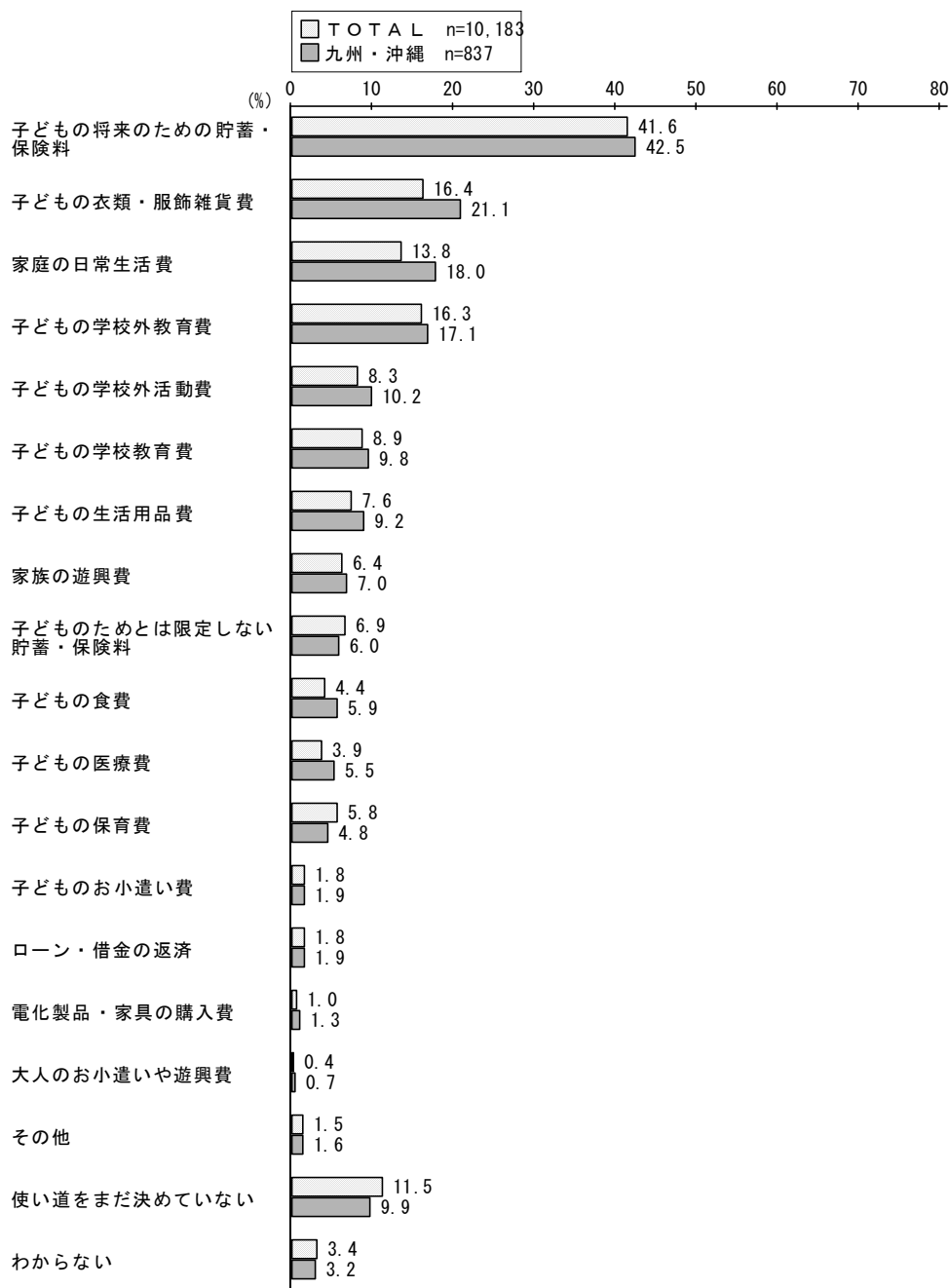
図表II-5-26 居住地域別の子ども手当の使途（予定含む）__中国・四国



九州・沖縄についてみると、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」が42.5%で最も高く、次いで、「子どもの衣類・服飾雑貨費」が21.1%、「家庭の日常生活費」18.0%、「子どもの学校外教育費」17.1%、「子どもの学校外活動費」10.2%、「子どもの学校教育費」9.8%、「子どもの生活用品費」9.2%などとなっている。また、子ども手当の「使い道をまだ決めていない」は9.9%となっている。

なお、九州・沖縄は全体の8.2%である。

図表II-5-27 居住地域別の子ども手当の使途（予定含む）__九州・沖縄



■トピック1

～ 長子の通学・通所状況による支出構造 ～

長子の通学・通所状況の違いにより、子ども手当の使途に特性があるかを長子学齢区分別の公・私立等の場合についてみると、次のような特性が得られた。

●未就学児

未就学児 4,088 サンプルとのポイント差について比較すると、私立幼稚園では「子どもの将来のための貯蓄・保険料」「子どもの食費」は5ポイント以上低い一方、「子どもの保育費」「子どもの学校外活動費」は5ポイント以上高い。幼稚園・保育所等には通っていないでは、「子どもの保育費」は5ポイント以上低く、「子どもの食費」が5ポイント以上高い。

公立と私立との差は幼稚園の「子どもの保育費」で、幼稚園と保育所・保育施設との差は「子どもの保育費」「子どもの学校外活動費」「子どもの学校外教育費」で表れている。

図表トピック 1-1 長子の通学・通所状況別子ども手当の使途_未就学児

長子の通学・通所状況（未就学児）			子どもの将来のための貯蓄・保険料	子どもの衣類・服飾雑貨費	子どもの生活用品費	子どもの保育費	家庭の日常生活費	子どもの食費	貯蓄・保険料 子どものためとは限定しない	子どもの医療費	子どもの学校外活動費	子どもの学校外教育費
		n										
0	TOTAL	4,088	50.9	17.9	12.0	11.3	10.7	9.6	6.5	6.3	5.0	4.9
2	公立幼稚園	225	46.2	19.1	9.3	13.3	13.8	5.8	5.3	5.3	8.4	7.1
3	私立幼稚園	1,040	△45.1	16.0	8.8	○20.8	11.2	△3.3	6.4	3.8	○10.2	9.2
5	公立保育所	581	50.3	16.9	10.7	13.3	11.4	6.7	4.8	5.5	3.3	4.1
6	私立保育所・保育施設	532	49.4	16.4	10.5	13.9	11.1	7.5	5.6	4.5	3.9	3.4
7	幼稚園・保育所等には通っていない	1,695	55.7	19.9	15.4	△3.7	9.6	○15.6	7.5	8.8	2.2	2.6

長子の通学・通所状況（未就学児）			家族の遊興費	子どもの学校教育費	ローン・借金の返済	子どものお小遣い費	電化製品・家具の購入費	大人のお小遣いや遊興費	その他	使い道をまだ決めていない	わからない
		n									
0	TOTAL	4,088	4.6	2.9	1.6	0.8	0.6	0.4	1.1	11.9	3.3
2	公立幼稚園	225	6.2	7.1	2.2	0.4	2.2	1.3	0.9	12.0	3.1
3	私立幼稚園	1,040	6.7	5.1	1.3	1.3	0.6	0.4	1.0	9.4	4.0
5	公立保育所	581	5.5	2.6	2.6	0.7	0.7	0.5	2.1	14.3	2.9
6	私立保育所・保育施設	532	4.1	2.3	2.3	0.6	0.8	0.6	1.1	11.1	3.2
7	幼稚園・保育所等には通っていない	1,695	2.9	1.2	1.2	0.8	0.4	0.3	0.8	12.9	2.9

●小学生

小学生4,031サンプルとのポイント差について比較すると、私立小学校では「子どもの将来のための貯蓄・保険料」は5ポイント以上低い。

小学校には通わずフリースクール等に通っているのは、サンプル数が33サンプルと少ないため、参考値として捉える必要があるが、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」は10ポイント以上、「子どもの学校外教育費」「家庭の日常生活費」「子どもの学校外活動費」「家族の遊興費」は5ポイント以上低い。一方、「子どもの衣類・服飾雑貨費」は10ポイント以上、「子どもの生活用品費」「子どものお小遣い費」が5ポイント以上高い。また、「使い道をまだ決めていない」は21.2%、「わからない」は9.1%と他の属性に比べ高い。

公立と私立との差は「子どもの将来のための貯蓄・保険料」を除き、小さい。

図表トピック 1-2 長子の通学・通所状況別子ども手当の使途_小学生

長子の通学・通所状況（小学生）		子どもの将来のための貯蓄・保険料	子どもの学校外教育費	子どもの衣類・服飾雑貨費	家庭の日常生活費	子どもの学校外活動費	子どもの学校外活動費	家族の遊興費	貯蓄・保険料 子どものためとは限定しない	子どもの生活用品費	子どもの保育費	
0	TOTAL	n										
0	TOTAL	4,031	39.5	20.5	16.9	15.3	11.9	11.9	8.8	7.6	5.5	2.8
2	公立小学校	3,755	40.2	20.7	17.0	15.3	12.1	11.9	8.8	7.7	5.5	2.8
3	私立小学校	163	△32.5	21.5	16.0	14.1	11.7	12.3	8.0	4.3	4.3	3.1
4	小学校には通わずフリースクール等に通っている	33	△18.2	△12.1	○27.3	△9.1	15.2	△6.1	△3.0	3.0	○15.2	3.0

長子の通学・通所状況（小学生）		子どもの医療費	子どものお小遣い費	ローン・借金の返済	子どもの食費	電化製品・家具の購入費	大人のお小遣いや遊興費	その他	使い道をまだ決めていない	わからない	
0	TOTAL	n									
0	TOTAL	4,031	2.7	2.2	2.2	1.0	1.0	0.5	1.8	11.8	3.0
2	公立小学校	3,755	2.7	2.1	2.2	0.9	1.0	0.5	1.8	11.6	2.9
3	私立小学校	163	3.7	3.7	1.2	1.2	0.0	1.2	3.1	13.5	1.8
4	小学校には通わずフリースクール等に通っている	33	3.0	○9.1	3.0	3.0	0.0	3.0	0.0	○21.2	○9.1

●中学生

中学生2,064サンプルとのポイント差について比較すると、私立中学校では「家庭の日常生活費」は5ポイント以上低い。

中学校には通わずフリースクール等に通っているのは、サンプル数が16サンプルと少ないため、参考値として捉える必要があるが、「子どもの学校外教育費」は15ポイント以上、「子どもの将来のための貯蓄・保険料」10ポイント以上、「子どもの学校教育費」は5ポイント以上低い。

公立と私立との差は小学生に比べ顕著であり、「家庭の日常生活費」では9.8ポイント、「子どもの衣類・服飾雑貨費」では5.6ポイントの差があり、いずれも公立が高い。

図表トピック 1-3 長子の通学・通所状況別子ども手当の使途__中学生

長子の通学・通所状況（中学生）		n	子どもの学校外教育費	保険料 子どもの将来のための貯蓄・	家庭の日常生活費	子どもの学校教育費	子どもの衣類・服飾雑貨費	子どもの学校外活動費	貯蓄・保険料 子どものためとは限定しない	家族の遊興費	子どものお小遣い費	子どもの生活用品費
0	TOTAL	2,064	30.8	27.2	17.1	14.9	12.4	7.8	6.5	5.2	3.1	2.9
2	公立中学校	1,736	31.5	27.8	18.5	14.5	13.2	8.3	6.5	5.4	3.3	3.2
3	私立中学校	275	26.9	23.3	8.7	18.9	7.6	5.8	6.9	4.4	2.5	0.4
4	中学校には通わずフリースクール等に通っている	16	△12.5	△12.5	18.8	△6.3	△0.0	△0.0	○12.5	△0.0	0.0	0.0

長子の通学・通所状況（中学生）		n	子どもの医療費	電化製品・家具の購入費	ローン・借金の返済	子どもの食費	子どもの保育費	大人のお小遣いや遊興費	その他	使い道をまだ決めていない	わからない
0	TOTAL	2,064	1.7	1.6	1.4	0.8	0.7	0.3	1.9	10.2	4.6
2	公立中学校	1,736	1.9	1.7	1.6	0.7	0.7	0.2	1.8	9.7	4.7
3	私立中学校	275	1.1	0.4	0.7	0.4	0.0	0.7	2.9	13.1	4.0
4	中学校には通わずフリースクール等に通っている	16	0.0	○12.5	0.0	0.0	○6.3	0.0	0.0	6.3	○12.5